京城日報

廿日夕刊

定價 本紙 一部金五錢 一ヶ月金六拾五錢
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 合資會社 京城日報社 京城太平通一丁目

◎全勝利を得る迄 訪露佛相歡迎會席上の演説

露國を訪へる佛國司法卿ヴイブヰアン、軍需卿トーマ兩氏の爲めに露都に於て盛大なる歡迎會開催されたり席上露國下院議長ロヂヤンコ氏は今や露佛同盟は世界平和の保障の如き觀あり而してやがて吾人は此の同盟の五十年六十年の祝典を擧るに至るべく又た此の同盟によりて吾人は縱へ如何なる代價を拂ふとも燦然勝利の月桂冠を待つありと述べヴイブヰアン氏又た單獨媾和は全く不可能なり吾人は如何にしても全勝利を得る迄は戰を繼續せざるべからずと結論し最後に露國外相サゾノフ氏は今や吾人は勝利者たらざる間は是非共戰爭を繼續の決心を固めざるべからずと確言せり(巴里電報)

◎在米全獨逸領事に訓電

駐米獨逸大使ベルンスドルフ伯は在米の全獨逸領事に對し在米獨人へ法律違反の行爲なき樣訓示せよとの訓電を發したり右は米人の反獨感情を解かんが爲なり(桑港電報)

◎米國建艦の議可決

米國海軍委員會は戰鬪巡洋艦五隻輕裝巡洋艦四隻及び潜航艇二十隻を建造することを可決し右の經費二億八千萬弗を計上せり(桑港電報)

◎總督邸午餐會

寺内總督は二十日正午より入京中なる新任駐日露國大使クルーペンスキー氏を官邸に招待午餐會を開き露國側よりは總領事、副領事等列席し總督府側よりは大庭、池田兩長官、小松、兒玉總務局長、武官、秘書官、副官等陪席したり

◎政務總監歸任

久しく東京滯在中なりし山縣政務總監は遠藤書記官、間部屬を隨へ廿二日東京出發直行して歸任する筈なるが京城着は多分廿四日なる可しと

◎兩議員の動靜

▲總督府訪問 小宮次官邸に滯在中なる貴族院議員法學博士石渡敏一同院議員和田彦次郎の兩氏は二十日午前總督府に寺内總督各部長官局長等を訪問したり

▲昌徳宮訪問 兩氏は總督府退出後午前十一時半昌徳宮を訪問仁政殿前の牡丹を觀賞し續いて博物館植物園等の秘苑を參觀せり

◎物集博士動靜

文學博士物集高見氏は十九日朝入京目下天眞樓滯在中なるが二十日午前總督府に寺内總督を訪ひて敬意を表し種々會談する處あり猶ほ博士は總督訪問後兒玉局長をも訪へり

◎物集博士日程

目下入京天眞樓に滯在中なる文學博士物集高見氏は二十日午後四時半より京城高等女學校講堂にて本社主催になる一場の講演をなし二十一日滯京二十二日仁川本社支局主催講演會に臨み二十三日朝出發鎭南浦直行二十四日南浦の講演會二十五日平壤講演會二十六日夜行列車にて大邱へ二十八日同地本社支局講演會二十九日釜山支局主催講演會に臨み同夜釜山發歸東の途に就く由なるが博士の事業を援助しつゝある中村辰五郎氏は博士の在鮮中各地に同行すと

◎東拓總裁一行

吉原東拓總裁井上理事二宮秘書役其他總會參列の一行は十九日午後八時東京に入りしが總裁は自邸に井上氏は日本橋區元數寄屋町島屋旅館に投せりと

◎東拓の參政官招待

東洋拓殖會社にては二十日午後六時半より入京中の藤澤内務參政官を花月に招待したるが兒玉總務局長、荻田不破兩事務官も陪席會社よりは重役參列せり

◎青葉會の招待

在京宮城縣人にて組織し居れる青葉會員は十九日夜入京中の同縣出身藤澤參政官を明月館に招待し盛宴を張れりと

◎鮮銀總裁の招宴

勝田鮮銀總裁は二十日午後六時より自邸に入京中の各支店出張所長、浦松田銀行部支配人を招待し盛宴を張れるが水越木村兩理事以下高級行員參列せりと

◎荒井長官邸午餐會

荒井度支部長官は廿日正午より各税關長並に税關長會議に列席せる關係各高等官を官邸に招待午餐會を開けり

◎税關長招待會

總督府度支部内の發起に係る税關長招待會は二十日午後七時より千代木に開催總督府並に所屬官署の主要職員高等官等四十餘名參列す

◎松永長官と望月氏

松永京畿道長官は目下入京中なる望月小太郎氏と自動車に同乘し二十日午前郊外清涼里附近の視察に向ひ午後歸邸せり

◎通信視察延期

忠州原州春川方面に於ける通信狀況視察の爲め出張の筈なりし矢野遞信局通信課長は公務の都合上其の出發を延期し居れり

◎和田總務課長歸任

平安南道の地方土地調査委員會に列し同道の西部を視察せし和田土地調査局總務課長は十九日歸任せり

◎隊署長會議

既報京畿道管内各隊署長會議は二十日午前八時より警務部構内に於て開會せり京畿道よりは松永長官有賀第一部長警務部長各係主任警視警部列席隈部警務部長統裁の下に午前中は各隊署長の管内狀況報告午後は諮問事項の答申等あり午後四時頃散會せり

◎京畿道郡書記會議

京畿道にては來る六月中旬頃管内各府郡主任書記を召集し事務上の打合を爲す筈にて目下道及び各府郡にては其會議へ提出す可き事項に就き準備中なり

◎店長事務打合會

入京中の鮮銀各店長は十九日會議終了せしが廿日は午前十時より各店長共本店に參集し所管店務に關する店長間の打合はせをなせり尚二十二日頃より追々歸任すべしと

◎北鮮暴風と被害

本月七日の暴風は北鮮にありては清津以北の沿岸に被害多く清津にては全潰家屋三戸半潰十戸其他に屋根を剥ぎ隣壁を倒したる等の被害は數千圓に達する模樣あり又た雄基に於ても家屋の破損少なからず殊に同地は氣温低く劇寒にして霰等を降らすこと一寸に及べり爲めに二名の凍死者を出したる椿事ありしが更に沿海に於ける出漁船の遭難は夥しく一時行衞不明となりしもの卅六隻の多きに及びたるが十三日迄に歸來又は其消息判明せるは二十一隻に過ぎず殘り十五隻乘組員約百名は今尚ほ不明にあるが消息判明せる二隻の難破船に見るも十五隻の運命悲觀すべく沿岸漁村より出發せる捜索隊も捜索しおるも只管何地よりかの遭難通知を待ち居るの有樣なり(清津)

◎豆滿江の減水

昨冬來降雨雪少なかりし結果にや解氷後豆滿江水は漸次減退して昨今に至りては甚だしく流域の所々人馬の徒渉し得る個所を生じたるが會寧附近に於ては殊に著しく最も徒渉し易き所數個所あり斯く減水の結果流木に舟楫に少なからず支障を生ずるに至れり(清津)

◎營口市場動搖 過爐銀相場の制限

既報の如く中國、交通兩銀行の兌換停止は奉天省に於て姑く之を除外し依然引換に應ずる事とせる爲め唯今のところ市場に恐慌を生ぜざるも右は奉天省を中心とせる滿洲だけの事にて他は必ずしも然りと見る能はず現に營口における交通銀行は奉天營口票所持者に限り一人百元宛の兌換に應じつゝあるも中國銀行は十五日限り兌換を停止し又榮道尹は市内錢鈔仲買人全部を公署に召集し爾今過爐銀相場を七十二元と制限する旨申渡し不服を申立つるものは嚴罰に處すと威嚇せし爲め過爐銀相場低かに引立たず其取引も行はれず早くも恐慌を生み來れる模樣あり右は中央政府よりの命令に基き行へるものなるが奉省において既に平生通り兌換に應ずる事とせし際營口において斯くの如き事態を發生せるは頗る矛盾せる現象といふべく之れに關し奉天の張巡按使は萬一の事あるも予は其責に任ぜずと通電せる始末にて當中銀の兌換停止は近く解除せらるべきも一度生じたる市場の動搖は不安は容易に治まらざるべく更に如何なる事態を發生せんも知れずと一般に憂慮されつゝあり因みに不換紙幣の最も多く流通する吉林、黑龍江方面も此次の兌換停止には一驚を起こすを免かれざるべく支那官憲は商務總會を通じて何れも善後策を講じつゝあるが如し(大連)

平壤

▲高普記念式 平壤女子高等普通學校にては五月十九日開校滿二週年に相當するを以て一日休業し午前八時より本校講堂に於て記念式を擧行し終つて職員生徒一同市内各校を見學せり

▲新任技手 平安南道勸業課[illegible]波止[illegible]氏は本月十六日附を以て本道農業技手に任命されたり

咸興

▲記念祝賀會 十四日軍旗を捧持し來咸の立花將軍を迎へ盤龍山麓の勝地に開かるべき筈の軍營設置記念祝賀會は天氣の都合上咸興座に變更し同日正午より開催し午後三時立花將軍新福參謀を從へ臨場するや軍營設置期成會委員長寺本太郎氏市民を代表し開催の辭を述べ更に立花將軍の答辭あり次に中道長官の發聲にて軍旗萬歲を加藤聯隊長は咸興萬歲を三唱し交話會となり興に入る斯くて散會後は當日の餘興として料理店の屋臺市中の山車踊屋臺等あり夜間は提燈行列等市中の混雜市民の狂喜は絶頂に達せり翌十五日は軍旗奉授式當日にて式後其兵營内に於て立花將軍は士官民を招き新衛戍開廳祝賀宴の催しあり市中引續き晝夜共前日に劣らぬ雜沓を極め益々餘興を盛大ならしめたり

元山

▲同部中將 築城本部長は十三日來豫定の如く永興灣要塞地帶に於ける各視察を終り十七日午前九時四十五分發列車にて元山を出發せり

▲今泉檢查官 今泉國太郎氏は目下元山滯在中にて十五日より土木局出張所を始めとし監獄分監、測候所、鐵道局等總督府直營工事の檢查を行ひたる上二十日頃退元の筈

▲巡回診療開始 咸鏡南道惡疫病院にては五月二十二日より同二十四日の間元山里商議所内に於て巡回施療を開始す

▲浚渫船買入 曾て元山土木局出張所より交渉中なりし築港用大型浚渫船豐前丸(二百噸)は過日七萬六千五百圓にて大分縣廳より購入すべく契約纏びたるを以て廿五日頃之れが引取をなす筈なり而して該浚渫船は修繕の上八月下旬頃元山に廻航すべしと

▲今泉檢查官招待宴 元山各官廳に於ては目下滯元中の今泉檢查官並に其の一行の爲めに十五日夕大荒樓にて盛大なる招待宴を催せり

▲開港記念日と餘興 來る廿三日は開港三十六週年記念祭を擧行する筈なるが當日は餘興として元山新聞社主催の下にマラソン大競爭を開催すべく目下同社にて諸般の準備中なり

▲間大發送高 客月中元山驛より各地に輸送したる間大豆總高は五百八十九噸にして就中京釜線に向け發送したる三百五十九噸を主なるものとす

仁川

▲狩獵會射擊會 仁川狩獵會にては秋谷外數名發起の下に廿一日午前十時より午後四時迄花町射擊場(一本桃山町)に於て放鳥射擊會を開催すべし

▲仁川俱樂部例會 仁川俱樂部の月例會は來る二十三日午後七時より仁川ホテル樓上に於て開催し餘興として川本逸童師の尺八演奏あるべし

全州

▲隊署長會議 過般來開催中の全北隊署長會議は二十日を以て終了を告げ各所隊署に歸還せり

▲全北武術大會 警務部の主催に係る武術大會は二十日午後一時より公會堂に於て開催し隊署より選拔されたる劍士四十餘名外に全州分隊並に有志數名の出席希望あり約三十番に渉る試合あり

▲全州俱樂部野遊會 二十一日の日曜を機とし全州俱樂部の全員は港津地畔の趣滿る處に於て一大野遊會を試むべく企畫され會員中より委員長委員等を設け更に係員を設けて競走、綱引其他種々の運動に就き準備を凝らし先づ福引等の餘興をも添ふることとなり居れる由なれば定めて盛會を極むるなるべし

▲秋場檢事正 秋場格太郎氏は去る十八日來全十九日警務部に於ける隊署長會議に臨み一場の訓示を試み二十日出發せり

光州

▲庭球大會 二十一日午前九時より光州小學校々庭に於て全南庭球大會を催す由にて申込者頗る多く盛況を呈すべし

▲稚蠶共同飼育補助 本年度地方費より道に於ける稚蠶共同飼育所は地方費に屬するもの五十六にて何れも補助申請中の處十八日甲種には十七日乙種には八圓五十錢の補助を下附する事となれり

▲白井少將出發 白井第四十旅團長十六日入光十七日第三大隊を檢閲し十八日午前八時順天に向け出發したり

▲角亥警視來往 總監部庶務課長亥角警視は十六日來光十七日木浦へ赴き十八日再び入光の上署隊長會議に出席し集合教育を視たる後廿日出發歸京の筈なり

▲麥作悲觀 降雨多き爲め地方農民は麥作の前途を悲觀しつゝあり陸地棉は雨の爲め既に發芽せしもの多しと

大邱

▲黑川檢事長退院 過日汽車中にて負傷入院中なりし黑川大邱覆審法院檢事長は其後經過良好にて十八日退院せり

▲鈴木慶北道長官巡視 鈴木慶北道長官は慶州地方巡視の爲め高田官房主任を從へ十八日出發せり

▲服部警務部長出張 服部慶北警務部長は十九日より二十三日間の豫定にて出倉曹長を從へ左の管内檢閲及び他道を視察す可し

▲十九日安東▲二十日榮州▲二十三日尚州▲廿四日江原道平海▲廿五日蔚珍▲廿六日[illegible]▲廿七日[illegible]▲卅一日[illegible]▲六月一日江原道[illegible]▲二日[illegible]▲三日[illegible]▲四日[illegible]▲五日忠北[illegible]▲六日丹陽▲七日榮州▲十日歸部

▲吉村第二部長出張 吉村慶北第二部長は驛屯土に關する事務視察の爲め十七日より五日間の豫定にて尚州地方へ出張せり

▲吉田事務官出張 吉田慶北事務官は一般事務視察の爲め竹林、池田兩書記を從へ十九日より五日間の豫定にて永川、慶州地方へ出張す

▲人事消息 岡田慶北道財務主任書記は税務視察の爲め十七日より八日間の豫定にて[illegible]地方へ出張▲慶北[illegible]務部[illegible]中田屬は英陽地方巡視の爲め十八日より二週間の豫定にて出發▲同氏は[illegible]狀況視察の爲め十八日慶北[illegible]地方へ出張▲[illegible]狀況視察の爲め十二日間の豫定にて漆谷[illegible]地方へ出張▲[illegible]中の同技手は十七日歸廳▲今回慶北道學務係より[illegible]州公立普通學校長に轉任せし山田[illegible]次郎氏は十八日午前十一時廿九分の列車にて出發す

慶州

▲學校組合現勢 本年四月一日現在調査によれば組合費負擔戸數百五十四戸人口五百八十三人にして其の業別は農業商業七十六戸官公吏四十二戸其の他三十六戸なるが小學校就學兒童數は男四十五名女四十四名にして此れに要する小學校經費千六百圓なれば生徒一人に對する所要支出額は十八圓八錢九厘に當れり而して本年度組合歳入出豫算額は千九百五十三圓にして一戸別割一戸當平均額六圓七十四錢同一人當平均額一圓七十八錢に當り尚ほ歳出經常費に對する事務所費の割合は一割三分一厘なりと

◎濰縣革軍は武力鎭壓

政府は山東衛雲鵬及び張樹元に電報を發し革命黨に對し飽迄武力を以て鎭壓すべく濰縣の開城を許さゞる旨命令し同時に中央より軍隊を發して援助することとなり南蠻にある第十二師團一個旅團新募集兵千二百名步騎兵各一大隊を十九日夜來濟南に輸送しつゝあり四日間に輸送終了の見込なり(北京特電)

◎中國銀行援助と日本

銀行團が中國銀行支店援助の件に對し英、米、露、佛の各公使は既に贊成を表したり唯日本のみは尚ほ決せず(上海特電)

◎北京政府の恐怖

北京政府は山東官憲の報告に依り日本に對し恐怖の念を起しつゝありと(東京電報)

◎火藥製造會社

民間兵器製造の先驅たる火藥製造會社は過回政府の委託を受け愈々創立に着手せり(東京電報)

◎樞府引續會議

二十日午前九時より樞密院特別委員會を開催し工場法施行令に關し附議する所ありたるが午後も引續き會議を開けり(東京電報)

◎伊澤中村兩氏

伊澤修二中村純九郎の兩氏は臺灣共進會より歸東の途櫻丸にて二十日朝釜山著同十時三十分發列車にて京城に向へり(釜山特電)

◎牟田口氏渡鮮

牟田口元學氏は輕便鐵道に關する要務を帶びて二十日朝櫻丸にて釜山に來著せり(釜山特電)

人事消息

▲阿部栗城本部長 入京中の處二十日朝退京
▲勅使河原鍵之助氏(平壤地方法院長) 二十日夜入京天眞樓へ投宿の豫定
▲伊藤德順氏(同檢事正) 同上
▲三井十三二氏(平壤覆審法院檢事) 同上
▲赤井定爾氏(大邱覆審法院檢事) 同上
▲鵜沢友剛氏(釜山地方法院檢事正) 同上
▲秋場格太郎氏(光州地方法院檢事正) 同上
▲岡崎久次郎氏(代議士) 入京中の處二十日朝退京
▲坂口利三氏(同) 同上
▲中村純九郎氏 廿日夜入京朝鮮ホテルに入る筈
▲佐々木道之進氏(海州地方法院長) 二十日入京不知火旅館へ
▲岡本重穂氏(咸興地方法院檢事正) 同上
▲村井民雄氏(會社員) 二十日入京浦尾旅館へ
▲有賀定吉氏(大連背原工務所長) 二十日夜入京天眞樓へ投宿の豫定
▲長野虎太郎氏(木浦新報主筆) 二十日午前入京二十一日退京の筈
▲上田恭輔氏(滿鐵社員) 十九日夜入京朝鮮ホテルへ
▲酒井十四三氏(同) 同上
▲松元鶴雄氏(仁川警察署長) 十九日夜入京清光館へ
▲宮崎命諸氏(開城憲兵分隊長) 同上
▲泊定吉氏(開城警察署長) 同上
▲アベケ氏(英人)▲メカム氏(米人) 十九日夜入京朝鮮ホテルへ
▲田中卯三氏(總督府事務官) 藤澤參政官案内の爲め京畿、咸南、平安南北、全羅南北、慶尚南北各道に出張
▲西島新藏氏(東拓平壤出張所長) 事務打合せの爲め入京中なるが廿日夜歸壤
▲長野虎太郎氏(木浦新報主筆) 廿日午前入京
▲鈴木伍三郎氏(釜山地方法院長) 廿日朝入京
▲大井鹽太郎氏 同上
▲内田耳平氏(黑龍會々長) 廿四日發奉天へ

地方金融組合登記
鐵原地方金融組合登記事項中理事福原房雄ノ住所ヲ江原道鐵原郡西邊面弓田里拾貳統六戸ト變更ス
右大正五年五月十五日登記
京城地方法院鐵原支廳

合名會社開城社代表社員金益煥「朴奉鉉」金鍾基ハ任期滿了ノ處大正五年五月參日重任
右大正五年五月拾六日登記
京城地方法院開城支廳

商業登記公告
内國通運株式會社ハ大正五年五月壹日東京市日本橋區佐内町參番地ノ支店ヲ廢止シ同日東京市芝區芝口貳丁目壹番地ニ支店ヲ設置シタリ
右大正五年五月拾五日登記
京城地方法院

法人登記公告
瀛川地方金融組合登記事項左ノ通リ變更
理事森井武次轉任ニ付大正五年五月拾壹日平山郡細谷面壹里瀛川洞拾統參戸野口貢ニ理事ニ任命セラレタリ
金川地方金融組合登記事項左ノ通リ變更
組合長金川郡金郡面梧泉洞武拾六統參戸金鎭任期滿了ノ處改選ノ結果大正五年四月武拾九日重任ス
監事同郡同面參拾九統參戸安鐘大監事ニ當選就任シタリ
右大正五年五月拾七日登記
海州地方法院瑞興支廳

廣告
弊社儀多年藥工品製造業及馬糧請負販賣業並に土木建築請負業を營業致居候處今般都合に依り大正五年參月十五日限り廢業致候に付き此段謹告仕候也
京城竹添町三丁目十六の三
力行社
營業主 李鍾奭 曹秉璜

臨時 出張鑑定
帝國易道協會長 中村了凡先生
五月二十日より同廿九日まで十日間左記の旅館に在つて尤も懇切に鑑定せらる
午前八時より午後九時まで
○鑑定種目 骨相、人相、易、家相、方位
○鑑定所 京城本町二丁目 清光館
帝國易道協會幹事

大正五年の新事業! 薄利にして丁寧迅速なるは當所の特色!
諸器械 其他金物一切
龍山漢江通り十一番地
五龍鐵工所 所主 大高虎吉 電話六三六番

土木建築業諸兄は特に御愛顧を乞ふ
各石灰、セメント、煉瓦、色土、色砂、青竹、布海苔、苆、支那瓦 其他左官材料一式販賣商
龍山漢江通 戸張商店
京城本町二丁目 電話五三四番 振替京城三五一三番 戸張販賣所

植木朝市＝明治町にて＝

●海軍新案航空機射撃
模型氣球を驅逐艇に曳かせて射撃演習＝本年より實行

航空中の飛行機並びに飛行船に對して實彈射撃演習を行ふとは戰時上必要な事たるも之が實行方法に就いては各國陸海軍共に苦心し居たるが

▲我海軍は昨年より 一個の繫留氣球を快速た驅逐艇に曳かせ後方より射撃する演習法を案出し唯だ經費の關係上製造を見合せ居りたるが愈々本年より實行することとなり最近山田氣球製作所に命じて目下瓦斯容積一百立方米突の氣球製作中なれば六月下旬には竣成し海軍に引渡すに至るべし其方法としては快速の驅逐艇より飛揚せる氣球より約一百米突の下に一個の標的を垂れ之れを搭乘者の居るゴンドラと見做し射撃するものにて標的の如何なるものかは知り得ざるも

▲最初の計畫は 實物十分の一の模型飛行機を垂下する筈なりしが僅か一百立方米突の氣球が模型飛行機を吊し一千米突の高空まで昇る浮揚力ありや否やが問題なり或は標的は模型機を採用せず他に適當の物を用ゐるに至るやも知れずと（東京）

●獨逸染料一萬五千噸
獨逸より亞米利加へ向け輸出 國内に消費し再輸出せぬ約束

ワシントン駐在獨逸大使ベルンストルフ伯より米國政府に致したる覺書に依れば獨逸政府は今回總量一萬五千噸に達する

▲各種染料を米國 に輸出する事を承諾せり當初獨逸政府は亞米利加商品と交換するの條件にて各種染料の輸出を許可せんとの意なりし由なるも其後英國艦隊の獨逸封鎖は北米合衆國に於ける

▲染料使用各工場 をして困難に陷らしめつゝあることを知るに及び獨逸政府は『輸出せられたる各種染料は凡て亞米利加國内に於て使用すること而して決して英國若くは其同盟國へ再輸出せざる』の條件を以て許可するに至れりと而して米國政府に於て該染料の安全に米國に到著すべき

▲保證を英國に向 つて交渉すべしとの事なり少量の染料は米國政府に對し印刷用として屢々獨逸より輸入せられたるも今回の如き多量にして然も商品として輸入することを得るは獨米兩國政府の交渉熟議の結果なりと（東京）

に一千圓にて土橋の手に入りたる古銅獅子耳六角花入を皮切として沈南蘋花鳥屏風は八千五百圓にて服部に落札したり午後十一時までの落札中最高價は三萬圓を呼びし

▲名物此世香爐 にして戸田男爵家に入るものならんといへど結局は藤田男爵家に入るものならん次は一萬九千圓の梨地菊唐草御紋散し蒔繪厨子香棚にして服部の札なるが三井八郎次郎男買取るべし夜の更くるに從ひ次第に大物の出で、一同益々油が乘り來り一萬圓以上の物の開かるゝ毎に拍手起り其騷ぎ一通りに非ず大物の中にては彼の名物

▲唐物岩城文琳 の茶入が五萬六千圓にて土橋に落札買手は坂本金彌氏也と云へど實は京都の藤田德次郎氏ならんとの噂次で細勢周茂叔愛蓮は二萬八千圓にて本山に落ち是は東京の某實業家の手に入るものなるべく染付辻堂香盒は二萬千圓にて林に落札之は團琢磨氏の手に入るものらしく又

▲評判の平目地 近江八景蒔繪十種香箱は二萬六千圓にて春海に落札買手は大阪の野村德七氏次いで青磁東福寺香爐は五萬千圓にて高山中に落札藤田男爵が買手なりと因に昨電馬遠周茂叔愛蓮を五萬六千圓とせしも岩城文琳茶入なれば訂正す

●伊達家の入札
總額百五萬圓

去る十七日東京兩國美術倶樂部にて行はれたる伊達家藏品大入札は實に百五萬圓に達したるが當日は

▲道具好として 知られたる三井松籟男、三浦觀樹將軍、末松青萍子等來場して成行を觀望しつゝありたるも待草臥れて辭去せり其の中

●白金の坩堝八個
盜んで臺灣に匿る

元土木局仁川出張所雇員池田竹太郎（三五）は昨年十二月二十四日出張所備品なる白金製の坩堝八個、同じく蓋七個、蒸發器一個此價格合計一千圓を窃取逃亡し行衞不明中なりしが此程臺灣安平港に潜伏し居ること突き止め仁川署の手配に依り安平港裁判所より令狀を執行逮捕され十八日是が身柄を仁川に押送し來り目下仁川署に於て嚴重取調中

●不屆なる若者
官命と僞り里民を欺く

全南濟州島生れの金智鉉（三二）は某會社朝鮮支部出張員寺内某の通譯として雇はれ本年二月以降京畿道揚平郡江上面に赴き自分は京城より官命にて出張を命ぜられて來れるものなるが國家の負債は人民の負擔すべきものなり是が取立てに來れるものなりと稱し愚昧なる里民を欺き數名より三四圓宛を詐取したる一件は驪州支廳に於て懲役六箇月の判決となりたるを不服とし京城覆審法院に控訴申立てたり

●廿一日日曜は曇

頃日は時候の變り目で斯う毎日曇天または雨天がつゞく、數日前から東部沿海州にある高氣壓は依然として勢力を失はず一方十九日來蒙古方面と黄海方面に低氣壓が出來てその中南方の淺い小低氣壓は十九日夜から龍岩浦方面に來襲した爲めまた雨となつた此分ならば二十一日日曜は曇天であらう（京城測候所長談）

□京城市民に望む
▲これからの衞生 ▲少年少女の風紀
隈部警務部長の談

［一］衞生の必要は季節を問はないが特に夏季に於て最も必要を感ずるのは傳染病などの惡疫が流行するからであるのは申すまでもない都會生活に於ては最も痛切に感ずる次第である［二］京城は數年來頓に衞生施設が完備に近づき市民も亦個人の衞生思想が發達したのは慶ぶべき現象であるが此勢を以て更に一段の發達を望んで熄まない各般の衞生施設は素より當局官憲に於て一刻も油斷なく實行を期しつゝある［三］然し之を要するに市民相互直接の利害を稱し來るものであるから各自が其住居する場所を清潔にする即ち住み好き處にすると云ふ考へよりして日常の生活を注意する樣にすれば當局者の餘計な手數を除く事も出來て其施設の上に非常な便宜を得る次第である此點は當局者の立場として特に市民諸君に申上げたい［四］京城府では本年より三千圓の除蠅費を計上して病菌の傳播者たる蠅の驅除を行ふ事になつて居る之も市民各自が蠅の驅除に心掛け其目的を達せしめなければならない［五］京城の如き都會地に於ては蠅の驅除は夏の衞生施設の重なる要件の一つであるのだから各戸でも蠅取器の如きを備付けて是非勵行して貰ひたいものである［六］近來京城にも不良少年とか不良少女とかいふ聲を聞くやうになつた當局でも不良少年少女や浮浪者等の風紀取締に就ては臨時臨機の處置を怠らないけれども［七］唯一つ困難なのは朝鮮人の少年少女の取扱であつて其時其時に嚴しい訓戒を與へて居るけれども反省の模樣がなく中には家庭に於て反つて惡習を助長せんとする如き傾向のある事である將來京城の發展に伴ひ此種の問題は頻發するであらうが憂ふべき事である

●喧嘩に負けて縊死

京畿道始興郡東面上道里大工職禹元實（一八）は十六日午前二時頃自宅附近の畑中なる棗の木に麻繩を懸けて縊死し居れるを發見し永登浦署より係員出張檢視せしが同人は前夜飲酒酩酊の上附近の者と爭論をなし其の餘憤の爲め精神に異狀を來し覺悟の自殺を遂げしものと判明し屍體は妻に引渡せり

●生殘を苦にして自殺

慶北金泉郡生れの金泰鎭（四八）は數日前より京城西大門町二丁目なる知人の金太永方に來り滯在中十八日午後五時半頃居宅温突内にて多量の阿片烟を仰ぎて自殺を遂げたり急報に接し鍾路署より係官醫師出張檢視せしが同人の實父母及び弟三名は昨年末雄の丸の遭難を喫し三名共變死を爲し自分一人のみ生殘りたるを大に悲觀しゐたりと云へば多分其の爲め覺悟の死を遂げしならんが屍體は家人に引渡せり

御大典活動寫眞
鎭海（廿日・廿一日夜）馬山（廿二日・廿三日夜）

京城日報、毎日申報の現購讀者は各等三割引のみならず同時に二等入場券四枚購入の方には御希望に應じ兩紙の中一つを一箇月間無代進呈

■番外＝實寫物＝滑稽物＝西洋奇術等

主催　京城日報支局　毎日申報支局

●武田和尚追悼會

本年は故武田範之大和尚の第七回忌に相當するを以て和尚生前の知己縁故者有志の發起にて故和尚の住寺たりし越後國東頸城郡下保倉村顯聖寺住職曹洞宗々務院教學部主事禪隆晩成師の滿鮮視察入京を幸ひ廿三日午後五時より龍山瑞龍寺にて豫修式執行の筈なるが成るべく多數有志の參拜を希望する由尚ほ和尚と厚縁ある入京中の内田良平氏も參拜すべしと

●鍾路の小火

京城鍾路四丁目朴承禮方土藏の枕木より二十日午前零時四十分頃發火し常備消防出動直ちに消止む原因多分漏電ならんと

……酒は一切要り申さぬ……手紙……不親切な道の敎へ方……雨は人を詰む二人の若者……聞な了解せぬ　南山にて　チロ二坊

女「お上りやす

吾輩「云はれるまでもなく今こゝまで登つて來たのぢやい

「お茶をお召りやす

「あゝ何にかお前の處ではお茶を呑ませるのかね それは奇特の事ぢや

「はいビールもお酒も有ります

「いや

◇乃公は享樂主義 や耽美派の哲學者でもムらず又サニシ主義の哲學者でもムらぬに由つて酒は一切不要り申さぬお茶だけ頂き度い、フアン山の上ではお茶に限る

女「あゝ申しあのお茶代を

「イヤ有難う！」

「はいあ何にかお前の處では此の形勝の處へ陣取つて此處へ登つて來る人間に一杯喰はせる商賣だなあ、咽喉の渇いた時にお茶を呑めと云ふから大變に

◆親切な娘だと感心して

─

◆居つたにイヤハヤ哲

も道を以てすれば欺かれるワイ元來哲學者と云ふものは正直者でござる向ふから來る若い男や女を見ろお前たちが餘り喧かましくエ、お上りやすお休みやす、と喚鳴るものだから恐らしがつて寄付きもしない、公園の半分はまるでお前達の領分だ吾輩は大切な

◇鹿の骨の ステツキを忘れぬ樣に細心の注意を拂つて茶屋を立ち出でた。南山に行くには何の道を參ると宜しいので御坐ると聞くと「これからどの道を行つても行ける」と敎へて呉れた者が有るイヤどうも不親切な道の敎へ方ぢや元來地球は丸い物で御坐るからそりや

◆どの道を行つても一と

◆廻りさへすれば同じか

行かれぬ事は無いさう云ふ意味で道を敎へて呉れたとすれば彼は不親切者ではなくて矢張り愛すべき哲學者の亞流であるかも知れぬ斯んな事を考へながら廣い道に添つて下つて行くと松の木の下のベンチに中折帽を被つた若い男が二人腰を掛けて手紙を讀んで居る、イヤどうも恐ろしく顏付を爲て讀んで居るが一體どんな

◇嬉しさうな 手紙なんだらう！此の解決は吾輩には付かぬ恐らく讀んで居る御當人にも餘り嬉しくて解決が付くまい、オヤ又雨かどうもよく雨の降る事だワイ、雨などと云ふ奴は餘程意地の惡い奴や左もなければ

◆非常に人間と云ふ者を

◆了解して居らぬ奴である

ワイ、昔から雨乞ひを爲ると云ふのは何れも田や畑の爲めに爲るので未だ曾て市街の爲めや公園の爲めに爪を剪り髮を斷ち素服して雨乞をしたと云ふ例は無い、それに何んぞと云へば此の頃京城へはよく雨が降る。大急ぎで南山へ參る一枚しか著物が無いと見ゑて

◇雨を怖がつて 逃げ出す奴が多い。日清戰爭の記念神と云ふのを見た成る程日清戰爭の時に使つた劔は大變に大きなものだ我輩などにはとても振廻はすわけには行かないと思つた雨に濡れるのは不愉快だ吾輩と雖も不愉快は愉快ではないから今日はこれだけにして歸る事にした（此項終）

書畫骨董入札

蘇村漁樵問答、雪舟外史著色山水、岸駒山水、兩鳳、江戸、對山、竹、石田、蜀、仙臺、竹舘、御印あり、古銅めくり、竹山、淵山、雲谷、湖、香爐小品、東洲、山陽、梅山、品及ヒスイ、翡翠、三方、品は某家秘藏の珍品のみ依托に相成り弊店の今回は某家秘藏の珍品のみ御蒐藏品も完全なるもの御來觀相願度候

五月廿日より五月廿一日午後七時迄下見　當夜共同廿一日午後七時ゟ開札

京城南山町三丁目　電話二〇二番　佐々木聚古堂

朝鮮で採鑛熱が昂騰したやうにお向ひの青島では匪錢の買ひ入れに大熱狂、中にはだいぶ成金も出來た相な▲旭町の名古屋城はあれで昔の京城名物の一つだつたが頃日は取毀されて跡形もない▲初夏の貞洞は道の兩側の新綠が非常によい、そして鳥渡朝鮮ばなれのした感じがする▲こんどの日曜も亦雨か四月二十二三日以來日曜毎に前後四回も恁う降られては天とう是か非か全く以つてやりきレーン

■東京大相撲夏場所星取表（表中○勝●負×分▲預ヤ休）

東の方		西の方	
西の海	○○	鳳	ヤヤ
大錦	○○	太刀山	○○
對馬洋	●○	伊勢濱	○○
栃木山	○●	大蛇潟	○●
兩國	●○	湘の瀧	●○
九州山	○●	石山	●○
源氏山	ヤヤ	大鳴門	○○
宇都宮	●○	玉手山	○○
釋迦嶽	●●	八甲山	●●
紫雲龍	ヤヤ	鳴戸洋	●●
小常陸	○●	[illegible]	●○
近江藤	●●	金の花	▲●
岩木山	●●	黒瀬川	●○
大の川	●●	[illegible]	○○
宮城山	●●	眞砂石	○○
梅ノ川	○●	千年川	○○
朝緑	●●	七州山	●▲
稲葉嶽	▲●	稲の穗	●×
四海波	●×	紅葉川	●●
龍ケ崎	○●	明石	ヤヤ
玉の川	●▲	柏戸	○○
逆鉾	○○	敷島	○○
綾川	ヤ●	朝潮	○○
勝星 十四 負星 二十五		勝星 二十五 負星 十四	

▲訂正 初日勝負栃木山千年川の勝負にて栃木の勝とあるは負の誤りなり

●狂犬 京城南米倉町日比某の飼犬は十五日家人二名に咬傷を負は

の爲め詐欺取財を爲したる事件は十九日京城地方法院に於て正治は懲役

の約束にて價二十五圓の自轉車一臺を借り受け之を觀水洞の金昌錬方に

商 朴海觀方より十八日午後七時五十分頃發火常備消防出動草葺温突建

る足袋一足を掻拂ひ逃走したる所を家人に取押へられ本町署に引渡さる

爲め生命に別條なし ●委託物を入質 京城黄金町一丁目

●連絡船上陸客 十九日午前釜山入港新羅丸一二三等客

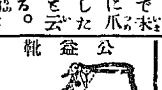
天氣 少雨後曇 ▲五月廿一日（二十一日午後六時迄）

製品は常に新しく非常によい、保證の出來得る煉乳にはヒシ印の商標あり。我が政府の奬勵製品

大阪市　榮原伊太郎

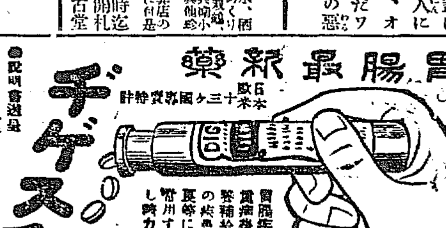
御案内 遊漁船 御釣道具小賣 仁川海岸町三丁目角 芹川漁具店 電話七五四番

公益靴



甲部黒ズック底紐來象皮持久力五圓以上の靴に匹敵す世上有觸れる古品改造不正品に非ず 金壹圓七拾錢 小包送料前金注文三十錢代金引換四十九錢 上村彌勝本店 大阪東區谷町二 電東二八四一 振替九九五〇

胃腸最新藥 ヂゲスチン 日本歐米十三ヶ國專賣特許



胃腸疾患、食慾不進、貧血病後の恢復期、營養補給の目的にて脂肪の缺乏小兒の腺病質不良等に賞用せらる、常用すれば血液を増し精力を盛んにす、

●說明書進呈 東京本町 合資會社 園城商會

古きを守るから新しきを取るから

石鹸の進歩改良も亦この圖の如し

最も新しき最も良き石鹸なり ゴロンゴ石鹸は

三越、白木、松屋其の他、洋品店小間物店、賣藥化粧品店にあり

おゴロンゴ．クリーム　おゴロンゴ．パウダー本舖

東京丸の内 藤原商店化粧品部

●生活難から詐欺 富山縣[illegible]川郡滑川町當時京城居住萩原正治(三[illegible])同人妻よし(二[illegible])の兩名が生活難[illegible]

●自轉車に味を占む 京城南米倉町金舜學(一九)は五月七日鐘路四丁目の自轉車商申德鉉より日貸し八十錢[illegible]十圓の自轉車一臺を擦つ拂ひて乘逃げたるものにて遂に鍾路署の手に檢擧されたり

●[illegible]同溫突火事 京城[illegible]洞[illegible]

●足袋を擦拂って 京城忠信洞生れ金壽福(一六)は本月十二日午後九時頃太平町二丁目佐伯某の店頭にありたる[illegible]

[illegible]は十九日午前十一時二十分頃居宅に於て苛性曹達を飲用して自殺を企てたるも夫が發見し應急手當を加へしたる爲め[illegible]

[illegible]賣却方を委託されたる羽二重羽織一枚(十五圓)の二點を横領して入質したる爲め鍾路署に檢擧されたり

腕の人

朝鮮の陶器を復活する使命

=工傳の陶器科=

高麗燒の美術品を有つた朝鮮はむかしから最も窯業の進歩した國であつた其燒硝子さいひ釉こいひ、坩堝さいひ耐火煉瓦こいひ何れも豊富な原料に富むで居る、殊に慶尚南道河東郡の陶土並びに慶尚北道慶山郡の陶土の如きは日本内地にも見られぬ程の優良なる土である工業專門學校の

=附屬工業傳習所=

の陶器科が將來朝鮮の窯業を復活する人の卵を養成しつゝあるのは何よりの事である、此の科の生徒も年齢は十四五歳から十五六歳、修業年限は二箇年の間に天晴れ一人前の腕の人と仕揚げられつゝある、生徒の製作品は主として高麗燒の

=靑磁または白磁=

であるが近來また瓦斯ストーブ用の諸器具鑛石分析用の坩堝等いろ〳〵な注文が相踵いで申込まれる殊に生徒の手になる湯呑、茶碗、花瓶の如きは參觀のお客にドシ〳〵賣れ切れる有樣、卒業生は主に就職するよりも校内の自營團に働いて自活しつゝある、生徒は先づ

=轆轤科と繪畫科=

の二つに分れ前者は窯の燒き方、窯詰め窯出し、土の拵らへ等を學ぶ後者は主に繪畫、圖案、象眼等を教はる此の科も亦學問や理窟よりは腕の人を作るといふ方針で生徒は始め轆轤で茶碗を作る事から土の練り方、分析方まで皆實地に就いて勉強する、殊に窯燒きの時には燒きあがるまで

=徹夜して働らく=

事もある程で何れも皆實際の仕事に就き學ぶやうになつて居る、また窯詰めは最もむづかしい仕事であるが陶器を容れる耐火土製のさやの如きは北鮮城附近の生氣嶺に實に理想的のものがあるので自營團の生徒は一個三錢の工賃で毎日これを製作する者もある、兎に角朝鮮には何處を問はず立派な陶土が掘出されるので

=將來資本家が事業=

を始めたならば乾度有望な工業となる現に學校裏の駱駝山で掘つた土から驚くべき美事な靑磁高麗が出來て居る、朝鮮では現今使用する粗末な白のサバルでさへも年額四五十萬圓の移入を内地に仰いで居る位ゐで殊に上等の陶器は皆日本内地から來るが近き將來には朝鮮の品が幅を利かすやうになるかも知れぬとのこと(つゞく)

婦人界消息

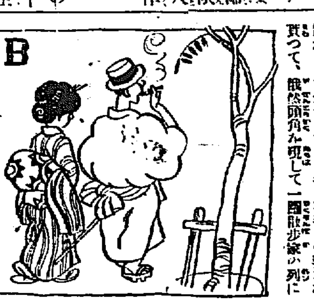
▲原翠子氏(覆審法院判事夫人) 過般東京へ參られましたが二十日午後九時南大門に着かれます

▲松田珠子氏(東拓鑛品出張所長夫人) 令息が東京遊學の爲め十五日上京されましたが近日歸京の筈

▲橋本夫人(遞信局事務官夫人) 先日可愛らしい坊ちやんが産れました

▲吉松夫人(京南第二區長夫人) 數日前可愛らしいお孃ちやんが産れました

□散歩家列傳(二)　めちや吉



B君―一體この男はどう云ふものか嘗つて散歩はしなかつたが、今年の春異しい要君を買つて、俄然頭角を現して一躍散歩家の列に入つた、物干臺に水色の夜の帳がドリる頃毎日定つて、ニヤ〳〵笑ふ男さ、樂し相な白い顏と並所に發見すであらう、終りに原町で歩く程なら寢轉んで居た方がいゝと云ふ方に屬する人である事を書き添へて置く。

神社と敎會とお寺

▲曹洞宗本山(若草町) 廿一日午前九時より從容錄提唱、經[illegible]あり

▲東本願寺(南山) 廿一日夜八時より日曜講話會あり(廿一日、二日、三日)は都合により[illegible]

▲基督靑年會(南大門通) 廿一日午後二時より中樞院書記官長小松綠氏の講演あり(戰後に於ける列國の關係と我國の覺悟)

▲日本基督敎會(長谷川町) 二十一日午前九時から日曜學校、同十時禮拜說敎あり(イエスの祈禱―井口牧師)同午後八時半より傳道說敎(自然と人生―井口牧師)

▲妙心寺別院(長沙洞) 二十一日午前正九時より[illegible]の提唱あり

▲西本願寺(永樂町) 廿一日は宗祖見眞大師降誕會[illegible]を[illegible]つて[illegible]

▲京城基督敎會(南米倉町) 廿一日午前十時より禮拜說敎[illegible]に因れる[illegible]同午後八時[illegible]

▲龍山日本基督敎會(漢江通) 廿一日午前九時日曜學校、同十時禮拜說敎「苦痛の祝福」[illegible]

△會いろ〳〵▽

▲筑前琵琶旭水會 廿日午後六時より大和町[illegible]會あり

▲創立記念祝賀會 私立淑明女子高等普通學校にては來る二十三日創立十週年記念祝賀會を京城ホテルに開く

運動界

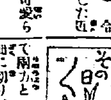
劍道野試合

黃金町武德會員は二十一日の日曜午前九時半より南山公園で野試合を試みる當日は一同先づ京城神社に參拜して其れから大日本劍道型を始め三本勝負、紅白勝負、馬上試合等面白いもの十數番を試みる筈雨天なれば道場にて開催

素人園藝

○朝顏鉢作り 鉢作りにするには先ず土を作らねばなりませんこの土は肥土と云ひますが[illegible]程度でよろしい。又それを[illegible]早く[illegible]させるには、水に一晝夜位浸して置くとよい。發芽して貝殼が開きかつた處で小鉢に植ゑかへるが一番よろしいのです。

番茶のあと



◆去る十六日に閉會した鐵道の共進會[illegible]總計七十萬人會期三十日を六日間延期しました◆京都のある洋服店で一人の婦人が巴里流行の外套を見ました、主人は此の外套は二枚きりですと申しますそれでは二枚下さいとその婦人が申します、なぜ同じものを二枚買はれるかと主人が訊れますと『他の人に同じものを著せたくないからだ』と申しました◆近頃出版界のレコードを造つたのは[illegible]『ほとゝぎす』以來の盛況である◆例の[illegible]安價生活で調くうちに十九版を重ねた[illegible]京は十日遠出ちあら銀行員さ結婚した相な近々大阪邊に新婚旅行と出かけるとかに出かけるとかの噂

回野菜サラダ 莢豌豆を[illegible]鹽を入れた熱湯に投して[illegible]、次に同じ湯の中に[illegible]を少し摘み入れ、[illegible]に切つた胡蘿蔔を入れて[illegible]て兩方とも[illegible]に揚げて水氣を切り、[illegible]細に切り、水に放して灰汁を抜き、一寸位な[illegible]りかけて布巾に包んで輕く揉み水を切り、四品を取り合せサラダソースを注ける、サラダソースは鹽小匙一杯、胡椒小匙三分の一、サラダ油大匙三杯、酢大匙一杯を能く混合せる。

□日本の女の健康は?

□□男よりも女の方が多く死ぬる□□

◇日本では女の數より男の數の方が多いが西洋では女の數より男の數が尠ない、英國は女百人につき男九十三人六分、墺匈國は九十九人であるにも拘らず日本では男百五人に對し女百人の割で生れた上に猶ほ女の死亡率が非常に高いから結局女の數が男より尠なくなる

◇只今は何處の國でも子供の生れる數は尠ない、一時最もよく子供の生れる國として知られた墺國も近來はだん〳〵出産率が低減して佛蘭西の如きは死亡率と生産率が同じ數となつた

◇しかし歐洲では生れる數が減じた代りに死亡する數もまた減じたから結局人口は增加する方である日本は生産率も增す代り死亡率も增加する殊に日露戰爭後生産率は上昇する一方である

◇また日本では男より女の方が多く死ぬる去る明治三十七八年戰役當時に於ては殆んど男女の死亡率が同樣であつたが其後だん〳〵女の死亡數が多くなつた

◇日本は男女の死亡率が世界で第六位に居る、日本より高いのはブルガリヤ、ロシヤ低いばスカンヂナビヤである

◇外國では大體に於て女の妊娠期に當る年齡には男の死亡率が女よりも多いが日本はこれと反對である、日本に似たのは先づ伊太利、セルビヤ、ブルガリヤ等で日本は靑年男女の死亡率の高い國になつて居る。

商況

東京株式特電

二十日 前場寄付 大引

日本郵船 三〇〇、〇〇 三〇〇、〇〇

京城電氣 [illegible]

日本[illegible] [illegible]

同新 [illegible]

東株 [illegible]

東新 [illegible]

債券現物特電

二十日川楽値段(前日との比較)

東洋拓殖 [illegible]

京城電氣 [illegible]

朝鮮銀行 [illegible]

朝鮮瓦斯 [illegible]

南滿鐵道 [illegible]

東京公債直取引

二十日川辨値段(前日との比較)

五分利 九六、六〇

甲 八二、二〇

深川在米特電

二十日現在高

朝鮮米 九四、八六

[illegible]米 七一、四二

内地米 二、三一、五八九

東京期米特電

大阪期米特電

二十日前場 寄付 高値 安値 止め

大阪株式特電

大阪三品特電

二十日前場 五月限 六月限 七月限 八月限 九月限 十月限

下關期米特電

二十日前場 寄付 高値 安値 止め 前場より氣味を脫せざる爲め稍軟調

朝鮮物産特電

馬山改良 釜山改良 木浦改良 同 群山改良 仁川改良 南浦改良 釜山中白 釜山上白 仁川白 仁川中白 仁川下白

鎭山大豆 江景大豆 元山大豆 城津大豆 鎭南浦大豆 仁川小豆 平壤大豆 群山大豆 木浦大豆

雜報

●皮革類の近況 六圓高 皮革類は歐洲聯合國の注文續出と船腹不足の爲め最近更に價格の騰貴を促がし朝鮮に於て製靴として需要の多き象皮の如きも一百斤に付き今や富地の百四十圓を唱ふるに至れり之に反し[illegible]

●製皮は概して頭打の形勢 [illegible]

●金巾類の其後 一割乃至一割五分安 [illegible]

●干瓢更に昂騰 一割五分方昂騰 [illegible]

●明太魚好氣配 一圓五十錢方引上 [illegible]

●米餅益々不賣 十二圓 元山の十六七圓 [illegible]

●鹽鯖入品切れ 廻著途切 [illegible]

下關相場

[illegible]

京城正米

[illegible]

京城雜穀

[illegible]

南大門の廻穀

[illegible]

仁川現物市場

[illegible]

生魚市場

[illegible]

仁川期米

二十日前場 五錢高の入電 二節〇一錢安移 [illegible]

◎仲買店 仁川米豆取引所仲買人 まるみ 支配人土居勝 電話二八三番

市場雰圍

▲前場保合ひ [illegible]

▲賣方の警戒 [illegible]

▲依然動かず [illegible]

▲期米强弱觀 [illegible]

値は絶望 是以上の高 運命に陷る [illegible]

小賣白米

現金賣 一等白米 十四錢 次 白米 十三錢五厘

▲合同紡績株 [illegible]

▲米新株奔騰 [illegible]

北濱だより

[illegible]

仁川米豆取引所

二十日の七月限 [illegible]

手關係等 人氣の作用 一時的現象 割高なり 劍割 爲め割 敢行 大石の受米 [illegible]

パール
(世界的)煉香油(萬人向)

髮の培養にパール煉香油をおつかひになれば黑くつやを增し房々と軟かに其芳香は又格別です

本舖東京 平尾銑也商店
關西代理店大阪 平尾贊平支店

くすりは山岸
諸官衙御用達 洋藥賣藥卸問屋 醫療及試驗器械
懇切叮嚀、迅速確實に市内配達及び地方通信販賣致居候
京城本町一丁目郵便局前 山岸天佑堂 藥品部 器械部 電話一二一〇、一〇二、六四〇 振替貯金口座京城二〇三

内科 小兒科 外科 花柳病 診察 自午前八時至午後九時
西小門町菅醫院跡(電話一二二五)
高井醫院分院
院長 正六位勳四等 高井貞治
副院長 千葉醫學士 松崎正彥

陸軍御用達
優等清酒

釀造發賣元 京城蓬萊町 三巴酒造場 電話一〇六七番 振替口座六一八番
太田支店 電話一三五番
平壤支店 電話五二一番
特約販賣所ハ朝鮮及滿洲樞要ノ地ニアリ

讃岐象頭山琴比羅神道大講義興武館長
熊川憲正師出張
滯在 自五月二十日至六月十日
家傳名鍼名灸に並接骨術 施療 治療受付時間午前九時より午後五時迄
■時間都合に依り柔道夢想新流奥義活法傳授す
於出張所 京城太平通廣江商會前(電話一四〇三番)
興武館 廣瀨館 熊川家執事

板硝子直輸入商
釜山本町一丁目
(上) 村上商店
電話百十九番 振替京城一四五番
◎相場表御一報次第贈呈仕候

价川輕便鐵道 列車時間表
价川發 前六、〇〇 九、〇五 後十二、〇五 二、四〇
新安州著 前七、五五 十一、〇五 後二、〇〇 四、三四
新安州發 前九、一〇 後十二、一〇 後二、四五 五、三〇
价川著 前十一、〇三 後二、三一 四、三七 七、二八

金剛山探勝
南大門、仁川、大邱、釜山、平壤驛にて金剛山探勝往復乘車船券發賣
單獨旅行 三割引
十人以上團體 汽車往復共五割引
連絡徑路 發驛-元山間汽車、元山、長箭間汽船に依り汽船は六月一日より十月末迄一ケ月十二回以上其の他は一ケ月六回兩港を出帆す
金剛山ホテル 山驚溫井里に在り長箭港より陸路二里
朝鮮總督府鐵道局

[illegible]

汽車時間

宮本武藏

第四十四回

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

天狗〳〵と評判を取つたのは津山城内にて居合の指南を致して居る伴兵藏といふ者、最う一人は据物切の達人柏木半助と云ふ此の二人が毎晩此處へ出る、若氣の誤りで最初一人切つたのが初まり、其から面白いものだから毎晩出る、それで腕前が勝れて居るから忍び廻りに選まれることがある、忍び廻りに出る人が試し切をするのであるから捕まる譯はない女夫杉の根形の處で　伴「柏木氏もう歸らう　柏「さうさ、歸らうかナ　伴「今頃まで待つて來なければ、最う通り掛つて來るものはない　柏「時に腹が空いて來たが、酒を今夜は持つて來たか　伴「持つて來た　柏「何に持つて來たと其では一杯飲むことにしやう　伴「柏木、お前のまひだが、名前は分らないけれども是まで私と私と二人して八九人切つた、其中には年を取つた者は妻子も有らうが若い者は兩親も有るだらう、實に憫然なことをした、私は名前も分らないが線香を上げるやうにして居る凡て初の中は面白いから前後の考へもなく無茶苦茶に切つたが佛に向つて念佛を唱へるやうになつては最う出來ない、お前も私も及物に掛つて死ぬのだ、飛んだ事をした、もう今夜ぎりで止さうと思ふが折角來たものだから千秋樂の切仕舞にもう一人やりたいものだ」と二人が話しをして居る向ふから謡を謡つて來る者がある、柏「伴氏。謡を謡つて來る者があるぜ、豫て天狗が出るといふ評判になつて居る、それに謡を謡つて來るといふのは豪膽な者に違ひない、斯ういふのが切りでがある、飛脚を切つたり馬士を切つたりするのは詰らない　伴「夫では柏木氏私が一の太刀をやるから、お手前は二の太刀を切んなさい　柏「此の前の晩は貴公が一の太刀を切つたから今晩は拙者が一の太刀を切らう　伴「それでは柏木云つて聞かさうが、今晩貴公が嫌やと云つたのを無理に拙者が連れて來たのであるから、今晩は拙者が先達である、拙者が一の太刀を切つてやらう　柏「さうか、夫れでは鬮を拵らへよう、長いのが一番とか短かいのが一番とか云ふやうに極めて引かうではないか　伴「宜しい」とそこで草を毟つて來て　柏「サア長い方を引いたのが先きにするのだ」と鬮を引きますと伴兵藏が一番に當つた、自由で鉢巻をして下緒を取つて襷となし、草鞋脚市の紐を締め直して、宮本の來るのを待つて居る、所へ來か丶つたのが宮本先生、茶屋の爺さんから聞いて居る女夫杉の所へ來掛つて來た途端、武「ハヽア是れだな……と謡を止めた途端、何者かヤッと云ふと切つて掛るを、鐵扇を持つてカチリと受止めた兵藏が太刀を取直して來る奴を鐵扇にてビシャリ右の小手を打つた、伴「アッ痛た……ツと刀を取落した、拾ふはうとした處を今度は左の小手を打つた、並大抵の者ならば倒れるけれども之も居合の指南をして居る男でありますから倒れはしないが、最早敵はないと知つたからソレ逃ろと云ふのでドン〳〵逃げた、此の晩は表のやうな月夜でありまして後ろから柏木半助もドン〳〵無茶苦茶に逃げて來た　柏「オーイ伴……誰れもう來ないから宜いオーイ伴……　……伴「何てへ斯う云ふ時呼ぶ奴があるものか、近藤とか中村とか違つて伴と云ふ苗字は津山にない、十八萬石の家中に伴と云ふのは拙者一人だ、那の者に聞かれたら何うする　柏「イヤ是は伴々惡かつた　伴「馬鹿を云ひなさい　柏「さうしたのだ　伴「さうしたつて拙者が最初切付けた時にチヤキンと音がしたが、彼奴は金物か知らん　柏「馬鹿を云ひなさい　伴「其から取直して行かうとしたら拙者の右の小手に打つたから刀を落した、拾はうとすると今度は左の小手を打つた、今考へて見ると鐵扇だ、三度目には小鬢の所を打たれたが、拙者は此通り毛が厚し其上鉢巻をして居たに依つて傷は出來ないけれども心が痛い、頭痛持になるかも知れない　柏「其から何うした　伴「ドン〳〵逃げて來た　柏「刀はどうした　伴「刀は今云つた通り落されて仕舞つた　柏「落したぎりか　伴「さうさ拾つて來る間がないから……　柏「それは大變な事をした」

肌に輕く着心地よき夏物の　めいせん　ちゝ姉や　京城本町二　電話八九〇番

入院隨意　京城南大門通三丁目（藤木商店横入る）　胃腸病院　電話一六五九番　院主　佐々木杢造

五月廿二日九星　舊四月廿一日巳　木　木命五黄八方塞　赤口

演藝案内

大正館　櫻井町　電話八七三

浪花館

壽座　本町　電話五七八

御成座　電話二九一

黄金館　黄金町四丁目　電話二六三七

月やく　月やくなきに御心配の方は三錢切手封入御手紙下さい身體に害なく通經する良法速に御知らせ致します　東京神田錦町三ノ一九　堀田けい子

目ぐすり中の目ぐすり　登録商標　岸田目藥　精錡水

クスリはホシ　外道藥四十餘種　各地藥店にあり　ホシサヨリン　散藥、痰、胎、漏毒、疳瘡、頭痛、耳鳴　定價廿錢卅五錢五十錢

瀬戸皮膚外科醫院　旭町二丁目（舊三丁目）　醫學士　瀬戸潔　診察夜九時まで　（電話二四九八番）

模範牛乳　純粹培養ヨーグルト　埼玉縣警肥塚正太　京城蓬萊町四　東亞牧場　（電話五二番）

月やく　毎月丸　月やくを通し子宮病を快治す　月經不通を快く通じ　月經不順を快く調へ　月經困難を快く治す

胃弱の人（いのよわきひと）　用心深き胃弱家は淺川博士の言はる通り飲んで後に害を殘さぬ胃活を家庭に備へて常用し玉へ……病は急げ　胃活定價　金拾錢より壹圓迄　胃活錠定價　金廿錢より壹圓迄　本舗　東京日本橋本銀町　大阪南久寶寺町　山田安民藥房

宮內省御買上品　お使ひ

▲大變な人氣を引起した　白色美顏水の話

【問】此頃婦人方のお化粧が以前と違つて、大變清新で如何にも氣持よく美しい方が多いのは一體何ういふ譯で御座いませう？

【答】左樣です。以前はお化粧といふと無暗にペンキの樣に眞白だつたり、斑だつたり、赤土色になつたりしたものですが、此頃は那麼舊式のお化粧をなさる方は殆ど御在ませんからです。

【問】では彼麼に美しいお化粧をするのには、何か新式の六かしい化粧法が御在ますのですか？

【答】否、新式には違ありませんが、少しも六かしい所では無く却つてずつと手輕で勞の無いお化粧の爲方で御在ます。

【問】あの舊式の不完全なお化粧でさへ中々一通や二通の骨折では御在ませんのに、此頃の、あのホントウに理想的と言度い美しい薄化粧、あの全でお化粧したとは見ゐない、生れつき色が白い樣に見ゐる薄化粧が、那麼に勞なく出來ますのですか？

【答】えゝ此頃の方が皆お使ひになつてゐる白色美顏水さへお用ひになれば宜しいのです。尤もあゝいふ不思議な品を製へる迄の桃谷研究試驗部の學者方の骨折は大したものだつた相ですが、お陰で私達は以前のやうに骨を折らずに、生れつき色が白いやうに見ゐ、其上少しも皮膚が荒れず、段々に生地まで色が白くなる新式の薄化粧が出來る樣に成ましたのです。ですから白色美顏水は、それはそれは大變な人氣になつて居ります。定價は一瓶二十錢で御在ます。

■白色美顏水を創製したる　桃谷研究試驗部

顧問　藥學博士　丹波敬三氏　醫學博士　山本淳二氏

專任　藥學士　桃谷幹次郎　藥學士　小磯勝次郎　藥學士　齋藤鉄助

特許微粉機械製　高等ほまれ味噌　特約發賣元　京城黄金町　三巴商會　電話三八一番　京城南大門外　大三商會　電話三二九番

資本金五百萬圓　頭取　安田善三郎

★株式會社百三十銀行京城支店　京城本町壹丁目　電話長五八番　振替貯金京城一一九四番

銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候　爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

ハカリ印　油斷大敵！　かぜは萬病の基で決して油斷は出來ないのである、之を打捨て置けば往々チブスや肺炎に變症して後悔する事となる故にかぜは勿論熱病に罹られたる諸君は速かにハカリ印のヘブリン丸を服用して熱を解き全快せらるべし。

大阪田口のヘブリン丸をハカリ印のヘブリン丸と改稱

菓子原料　菓子器具一式　廣告　製菓　庄　仁川龍里　福西製粉所　電話三二六番　振替京城八〇〇番

鐵ト浪平板　京城府南大門通り三丁目　直輸入卸商　天　福田又京城支店　電話一二二番　振替京城二九二番　◎毎月商報發行致居り候條御一報次第御郵送可申上候

材木商　京城府岡崎町　須川商店　電話（龍山）三四番　樫、欅、朴、桂、杉杢、杉柾、鴨綠江材各種

京城日報
第三版

大阪三品

大阪期米特電（二十日）
後場當限寄付三圓九十五錢 止め九十七錢今中
寄付　一三、九〇
高値　一三、九〇
安値　一三、九〇
止め　一三、九八

▲後場不動 [illegible]の入電に接したるも動かず八九錢を振り合結局十八錢で散會
大阪の變らざる入電なきも動かな受けて十二[illegible]

▲依然底强し [illegible]受渡高千石內外ならんとの事 大阪の氣配は高からんとして高からず安からんとして安からず小變動を繰り返し居
[illegible]十錢不滯御力十圓八十五錢九十五錢、地掛御力十圓九十三錢艮都十一圓五十五錢等にて三井物米所へ約千臥圓田物米所へ七十臥荒木內海兩支店へ六百七八十臥出來…入氣を呈せり

廿一日朝刊（夕刊と合せて八頁）

定價 本紙一部金五錢 一ケ月金八拾錢 …
廣告料 …
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 合資會社京城日報社 京城太平通一丁目
電話 …

京城論壇

朝鮮開發根本の急務

伯爵 李完用

近時朝鮮の富源開發に就て說を爲すもの漸く多くなるに伴れ、之に關する意見も隨つて多種多樣に渉つて居る樣であるが、之れ畢竟各論者が其觀察點を異にし、其研究の道筋を異にする爲めであつて、別に怪しむには足らぬ。

元來朝鮮は地形上より見ても三面に海を繞らせる大陸續きの半島であり、此の半島の富源は、夙に未開時代より甚だ大なるものであると言ひ傳へられて居る樣に記臆して居るが、眞に其の通りである。今日到る處に於て各種の鑛物が發見され、海產物の漁獲高も比年豐富を加へ來つゝあるに見ても半島天與の富源は今後開拓の餘地綽々たることを信じ、之に冀望することが出來る。右は其の一端を述べたに過ぎぬ。

抑も此朝鮮の富源は、未だ人智の發達せなかつた爲に、不幸にして其發見が著しく遲れたのであるが、余は此點より觀知し、十分に研究を重ねて見度いと思ふ。而して此天與の富源に加ふるに、所謂人爲的なる各種の事業も朝鮮には頗る多いのであるが、此等富源を開拓し、事業を振興するには何よりも、先づ一部朝鮮人の惰性を開拓することが最急務であると云ふことを余は主張して已まぬ。次に富源の開拓と云ふがごときは素より難事であつて、只山さへ掘れば金塊などが得られるやうに思つて居るものがあるが、決して左樣に簡單容易な業でなく、一朝一夕にして其の成功を期することは不可能である。若し現在の朝鮮人の狀態に滿足して、之れを間に合せの勞働にのみ使役せんとする近視眼的方針より事業を營まんとする者がありとせば、卉は大なる誤解であらうと思ふ。余の論を以て、或は今日の急場に適應する能はざる一の理想論に過ぎずと做す者も亦あるであらうが、然し余は富源開發の成功期に至りては、寧ろ前者よりも後者の方が遙に捷徑であると信ずるのである。

新政以後朝鮮人の惰性も隨分改まつて、地方の如きは夫は一定の農業を働くはかりでなく、其傍には道路修築等の夫役に加つて、世の公益を計つたり、其妻は農家の副業であるところの養蠶、養鷄、機織等を孜々として營み働くに至つたのは、誠に喜ぶべき現象である。然るに反之て總督の足下に居る京城人士の惰性は、依然として改まらぬばかりでなく、寧ろ增長する傾きがある。余は洵に遺憾に堪へぬ。何故に然るかの原因は要するに彼等が祖先傳來の家產に賴りて、未だ多少の餘裕あるが故に、地方人士の如く比較的生活の刺激が少いのと新政の惠澤に浴することが多い結果に相違ないと思ふ。斯く云つては甚だ苛酷であるかも知らぬが、此の上更に過分なる惠澤に浴せしむるよりは寧ろ最少し刺激を與へて、早く迷夢を直覺的に醒さしめる事は却て幸福を與へる所以であると思ふ。余の許にも屢々來りて朝鮮の富源を如何にすれば利用し得らるゝかと相談を持掛くる者もあるが、余は常に彼等に對して「富源は並大抵の事では手が届かぬ。然し手が届かぬからと云つて斷念をするやうな弱い事は決して何物も掴むことは出來ない。今日古人の豫言もしなかつたところの飛行機の如きものも人力によつて發明工夫せられたではないか。苟くも事に熱心勉勵なるに於ては、凡そ人事の企て得ざるはないと云つても差支はない。座して美果を求むる可らず。如何なる仕事と雖も其れ相應の努力と勤勉を要する。飛行機の發明の如きも所謂大なる努力と勤勉に依るのであるから、凡そ富源を得んとするものは、斯の如き覺悟がなければならぬ」と答へて居たが、昨今は餘り來ない樣になつた。話が餘り橫道に這入つたが要するに今後富源を開拓せんとするには、何よりも先づ主事人たる朝鮮人の惰性を開拓することが、余は最も根本策であると同時に最良策であらうと信じて疑はないのである。

三道隨行記

中島生

五、鳥嶺の嶮

○「右方の絶壁、岩石の面に刻みある彌勒の像を見落さるゝ勿れ、何の時代に何人の手に成れるや明かならず、之れ鳥嶺名物の一なり」と忠北道廳の三宅貞太郎君は、自動車上伸びあがりて指し示す。十一日午前七時忠州を發したる總督の一行は、聞慶尙州等を經て金泉に到るべく、車行將に鳥嶺の嶮を超ゐんとする也。

○余が今回の隨行は、他に困る事はなかりしも、但だ如何に巧みに自動車を利用して、終始隨行の義務を果さんかとは、毎朝毎夜余を惱殺せる問題なりき。此日忠州出發の間際まで、到底同行は絶望と觀念し居たるところ、大藤副官等も何とか便宜を與へたきものと盡力せられ、殊に三宅君の如き前夜來專ら余が爲めに自動車心配主任たるかの如く斡旋せられし好意空しからず、幸にも柳長官等の用ゐたる道境までの見送自動車に便乘する事を得、殆ど斷念し居たる鳥嶺越の一行に加はることを得たるは寧ろ天佑と云ふの外なし。若し此行に外れたらんには、空しく忠州に半日或は一日の滯留を餘儀なくせられ、隨行の目的は過半水泡に歸すべかりしなり。

○忠州邑を出づれば、直ちに山路に入る。嚴壁溪流を挾み、其間道路の通ずる所、耶馬溪を憶はしむるものあり、此道路は、朝鮮の脊梁交通路に當り、幅四間の一等道路に屬す。而して鳥嶺は京釜街道中の一大難關にして、東海道に於ける函嶺の嶮と云ふ所なり。昔は道路險惡にして、車行は愚か馬背にてすら越ゆるに難しとせられしが、今は大道の通じて緩勾配の間に峠を超ゆるあり。何等の困難なく、何等の危險なく、人は車上に煙草を燻らしつゝ悠々通過し得べし、廢殘の古道は今日人の顧みるものなく、荊棘の生ひ繁るに委せり。

製鐵問題（四）

三、原鑛供給

凡そ製鐵事業存立の基礎は之が原料たるべき鑛石供給法の確立と云ふ事である、故に製鐵計畫たるや枝光の官設工場を除の外皆何れも如何にして原鑛の供給を受くべきかの先決問題を解決せなければならぬ、此に於てか製鐵問題は一轉して鐵鑛問題となり、日本內地は勿論朝鮮滿洲を始め隣邦諸國に於ける鐵鑛の供給量につき探究の歩を進むるに至つた、今此點に關して農商務省鑛山局の調査せる所を揭げて鐵鑛々量調査の一端を窺はむ

△內地鐵鑛々量調査　本邦鑛產地中從來調査の結果採掘に堪ふるものと見做したる推定鑛量は大略左の如し、但し現在に於ては採鑛極めて不充分なるの鐵鑛尚ほ存在するを以て將來大に增加すべき見込あり

（イ）磁鐵鑛　磁鐵鑛の產地中最も主要なるは釜石鐵山にして其鑛量は三千五百萬噸以上なり、其他陸中（八首、宮古等の地方）磐城（石川、上半岡等の地方）越後（栗岳、西川等の地方）上野、大和、播磨、美作等にも同種の鐵鑛床散在し、此等諸產地の鑛量を合算するときは少くも五六百萬噸なりとす

（ロ）赤鐵鑛　赤鐵鑛の主要產地は越後（赤谷、加茂、猫石地方）陸中（仙人鐵山及び盛岡、宮古等の地方）土佐、安藝（蟠田、吉川等の地方）日向、陸前、出雲等にて其總量は約三千萬噸也。

（ハ）褐鐵鑛　主要なる產地は北海道膽振（虻田、ワッカタサップ、洞爺地方）長門（太田地方）肥後（阿蘇地方）陸中羽後、豊前等にして總鑛量は約一千萬噸なり

△朝鮮　朝鮮に於ける主要なる鐵鑛產地は黄海道大同江流域（殷栗、載寧、安岳、兼二浦の地方）等にして其の總鑛量約一千萬噸也（主として赤鐵鑛及び褐鐵鑛）其他平安道（价川和徳里等の地方）黄海道（海州地方）咸鏡道（利原端川府地方）にも各種の鐵鑛存在し其總鑛量は少くとも二萬噸を下らざるべし

△滿洲　鞍山站一帶地方に於ては諸所に鐵鑛存在し其品位概して低きも鑛量は鐵三割以上のものを合算する時は大約二億六千萬噸は下らざるべし又本溪湖鐵山は磁鐵鑛を主とし赤鐵鑛を交ふるものにして其鑛量は鐵分三割五分以上のものを合算する時は大約八千萬噸以上なりとす

△支那　支那に於ける主要なる鐵鑛產地は揚子江流域（大冶及び附近の鐵山、銅官山、桃沖、當塗附近等の鐵山）及び山東省（金嶺鎭、淄川縣鐵山）山西省（澤州等の地方）河南省（六河溝方面）江蘇省（利國驛方面）福建省（陳莊、龍岩州等の地方）等の諸省にして、內一冶鐵山の鑛量は約一億噸內外なり、而して此他揚子江流域に散在せる諸鐵山の鑛量は合計少くも五千萬噸を下らざるべし又金嶺鎭鐵山の鑛量は約二千萬噸にして其他前記諸省に於ける鐵鑛中には鑛量豐富なるもの存するのみならず尚ほ直隸、湖南、浙江、廣東等の諸省に於ても鐵鑛所々に散在するを以て支那に於ける鐵鑛の包藏量は將來調査の進行に伴ひ其量極めて多大なるに至るべし

日本文化の淵源（一）

文學博士 物集高見氏講演要領

緒言

私は九州の生れで朝鮮とは比較的近い處であり乍ら少年時代から各所に轉々して遂に今迄一度も朝鮮に來た事が無く今回初めて來た譯だが萬感胸に溢るゝ思ひがある第一に朝鮮と日本とが太古から非常に關係が深かつた事である此事に就て私は過去三十年の昔から種々研究して見たが太古に於ては朝鮮と日本とは土地も人も同じものではなかつたか、日本と朝鮮の間には壹岐、對馬の樣な仲介になるものがもつと澤山ありはしなかつたか、怎も今よりは餘程

▽交通も便利で　あつたらしく思はれる神代時代に於て日本の神は朝鮮にお渡りになつたり朝鮮の神が日本に來たりして植樹をされたりなどして居られる天の火鉾など日本の神として祭られてゐる豐前風土記などを見ると朝鮮の神樣が豐前に來たなど書いてある悉仁記などにてゐた話が悉仁記時代のものとして書いてある是れなど隨分碩學間にも問題になつてゐる事である要するに朝鮮と日本との交通は織るが如く密接してゐたものと思はれる然るに海洋の具合が現今の如くんば交通は決して太古爲されて居つた樣な密接な事にならなかつたかも知れない太古の船は二間半か三間位のもので

▽大木を半分に　割つて二人か三人位しか乘れないものを幾つも繫ぎ合はせたもので今日の樣な海は決して渡れない百年許り以前に尾張の國で耕作中に水田の中から太古の船を掘出したのが今の樣に大木を割つて中央を穿つたものなのである是れでは怎しても今の樣な海洋は渡れない是れには或は地形の變化と云ふ樣な事も關係してゐはしないか昔源平時代に佐々木三郎盛綱が藤戸の渡を馬で渡つて日本一の豪の者と感狀を賜つた處など今日見れば海から二町餘の陸地と成つて居る六百年後にして既に是れ丈けの變化がある何でも其道の學者の說に依れば

▽地球は南へ南へ　と廣がつて行き其代り北がへつて行くと云ふ事である而して其程度は百年に七尺位だと云ふ其れでは餘り少な過ぎていとすれば千萬年前の壹岐對馬あたりはどんな風であつたか私は卅年位以前から地質學者などに其樣な問題を出して聞て見てるが今だに確答を得ないでゐる一體朝鮮と日本との交通は何萬年以前の神代時代から交通されてゐたものか不明だが人の世になつても依然として繼續されてゐる事は歷史にも見えてゐて朝鮮から日本に持ち傳へた物事は色々ある神代記などの物語中には

▽朝鮮の物語が　大にまじつてゐる神代許りでなく人の世の事もまださうである朝鮮と日本との關係を太古から詳しく研究してみたら隨分面白い事が多からうと思ふ昨日も宿で來訪者から初めて聞いて驚いた事だが朝鮮の言語は他動詞が名詞の下に來ると云ふ其れが異ならば大學あたりで長い間論じあつてゐた日本人種論などが總て無用の事に歸してしまふ譯だ朝鮮から日本に來たものでは漢學があり佛教がある日本の文化の本は皆朝鮮から來てゐる樣なものである其漢佛二種のものが日本に渡來して來てから如何に日本の文明に影響したか之に就て語る事が本題の主旨なのである

日報歌壇

□世の中　本間 潔月

世の人は我をよつぽど懶惰ものと思つてゐるらしどうもさうらしい
美しい女を美しいと言つたのが惡いかどうかおれには分らん

□花の雫　三村 秋月

一時は櫻の如く華やかに吾がなりはひを誇りてみたし
四五年も住みなれたれば朝鮮の女をめとり共に暮さん

□春の雨　慶山 平山 鶴水

賴られし吾が身は遠く旅に出で愚なる弟が親養ふも
草分けて鳥山いつる朝日浴び磯の白砂に歌など書きつ
春の雨擔軍に背負はれて渡る川チヨンマゲの紐いぢりなどして

新刊書御案內

書名	著者	定價
住宅建築	建築世界	二五〇
我家の顧門		七五
滿洲概要	吉武源五郎	一〇〇
日蓮聖人之遺訓	遺訓研究會	五五
禪學入門	秋野孝道	七五
向上論	尾崎行雄	六〇
修養一ケ年		五五
夜船閑話氷釋	白隱禪師	四〇
青年修養 偉人の言行	西郷哲人	二五
トルストイ民話集	深木弘	一一〇
ショウペンハウエルの研究	征矢野晃雄	一八〇
ドコまでも	鶴見秀一	一〇
斬人斬馬	町依秀一	一二〇
ABCより	生田長江	三五
英文解釋自在	若目田武次	四〇
幾何學新講義	山內反馬	三〇
帝都郊外の史蹟	安藤佑專	五〇
舞扇	長田幹彦	九〇
水彩畫家	島崎藤村	五〇
養心中	岡本倚堂	四〇
みだれ髮	小栗風葉	四〇
實用ペン習字帖	黑柳勳	二〇

大阪屋號書店　京城本町　電話二〇八六　振替京城二五七三番

京城府告示第十號
大正三年四月一日京城府公立普通學校授業料徵收規程中左ノ通改正ス
第二條第一項龍山ノ下ニ「昌信」ヲ加フ
第三條第一項第六號「茶洞」ノ下ニ「昌信」ヲ加フ
大正五年五月十七日
朝鮮總督府府尹 金谷充

男爵後藤新平閣下題辭 算專攻 佐々木政吉先生著
訂正 實用計算法秘傳
本書一度世に出づるや全國諸氏より大好評を博し今又茲に訂正して愈々其神秘を公にす解く所簡明一度秘訣を會得して應用せんか可驚程速答さる諸大家は秘訣に驚嘆せらる、加法五百字迄三分減法普通五分の一乘算上下二位九九二度三位九九四度四位九九七度除算は除九九を要せずして答を得終りに開平幾何代數三角及諸檢算を解く萬人必備の快著なり
發賣 東京日本橋北槇町 大阪屋號出版部　京城 電話六四番 振替二五七三　大阪屋號

岡山縣人 岡崎佐平に告ぐ
國元に急用あり至急歸宅を要す
現住所京城南山町二丁目三宅富治へ報知せよ

農蠶界の盛季來る
農具 蠶具 肥料 ……各種……
業務擴張 營業案內御通知次第送呈 御需用に應ず可く候 品質精選廉價を以テ
京城南大門外 朝鮮勸農株式會社販賣部　電話四〇三番　振替口座三七八番　電略（カ）

新學期開始 會員大募集
▲僅に一年 建築の奧儀を極む
▲會長 肝付男爵
短期速成 建築科講義錄
講師 斯界の大家十數名
會費は低廉比なし
講義は平易明瞭にて實用的也
▲此の際の入會者に限り建築得業師の稱號授與其他數種の大特典あり
▲今や入會の絶好期也此機を逸せず速に見本を請求せよ
數十頁の冊子能く十大特色を備ふる講義の內容を證明す
見本附規則書 申込次第進呈
▲實物見本希望者は四十錢送られよ講義錄一ケ月分と規則書を送る
帝國工業教育會　東京市麴町區三番町三十　振替東京三〇八七〇

少女の友
六月號
戰場美談 繪畫軍歌 少年漫畫 歷史小說 冒險小說
△見よ——▲胡蝶の子……鶴島大將 ▲諸國行脚……土田博士 ▲鶴の死骸……秋田雨雀 □重砲の威力 ▲化物寺の跡 ▲深山探檢談……主筆 有本芳水 □わが友よ
□寫眞小說 山中の怪火　秩父山中へ特に寫眞隊を派遣し撮影したる少年義勇の大活劇
△見よ——▲智惠太郎……岡本一平 ▲腕力次郎……同 ▲力士の噂……記者 ▲少年忠臣戲 ▲ハンニバル ▲少年海員……アート・スミス □余の宙返り
定價 拾貳錢 郵稅五厘 半年分七十錢 一年分一圓三十五錢 東京市京橋區南傳馬町 實業之日本社

日本少年
六月號
小女教話 少女科學 寫眞小說 歷史物語 新子守唄
△御覽なさい——▲人形のきもの ▲やんちや娘 ▲娘へ母の手紙 ▲賢母物語 ▲動物畫報 ▲植物畫報 □少女と感情……下田歌子
□本誌 愛讀者大會記事 當日の寫眞ス ケツチ 大活躍
△御覽なさい——▲地獄から極樂 ▲古錢物語 ▲怪星の秘密 ▲三才女 ▲地藏尊 ▲魚の裁判 □高等女學校入學準備
定價 拾貳錢 郵稅一錢五厘 半年分七十錢 一年分一圓三十八錢 東京市京橋區南傳馬町 實業之日本社

二十日の七月限
後場 寄付 十二圓十七錢　止め 十二圓十八錢
五月限 三千三百石
六月限 四千三百石
七月限 二萬五千六百五十石

段梁兩氏の兌換意見

兌換停止の前後策に就き政府は今に方針決定せず段祺瑞は或る制限を附して兌換すべしと主張せるも梁士詒は暫く現狀の儘たるべしと主張し段に反對せり(北京特電)

政府の送金割合命令

北京政府は各省へ電報を發し中央への送金は紙幣四分現金六分の割合にすべしと命令せり(北京特電)

章炳麟捕縛さる

章炳麟は十八日天津に遁れんとして發覺し官憲の爲め捕縛されたり(北京特電)

南京會議と開會

馮國璋の主催に係る南京會議は二十六日より開會に決し十一省の代表者會同すべし(東京電報)

▲別報 南京電報に曰く南京會議は愈々二十一日開催す可く倪嗣冲は參加の事に決したり(東京電報)

英人北方に好意

在支那英國人は北方に好意を寄せ北京政府に對し經濟上の援助を與へんとしつゝありと(東京電報)

山東革命不成功

山東省の革命は靳將軍動かざる結果全然不成功に了れりと(東京電報)

陳暗殺の影響無し

革命黨某首領曰く上海に於て暗殺されたる陳其美の死は革命軍に對し大なる影響なしと(東京電報)

ヴ要塞戰佛軍振ふ

巴里來電公報に曰く最近ヴェルダンに於て最も活潑なる佛軍の活動ありミューズ西方の獨軍は準備的砲戰の後夜間アヴォクール堡壘を奪取せんとして數回の攻擊を行へるも總て擊退せられ非常の損害を蒙れり茲に於て佛軍はモルトム北方に於て拂曉攻擊を行ひ獨軍を敵の塹壕に驅逐し敵兵を捕虜とし或は殺せり又之と同時に激戰後三〇四高地坂路の東北方に於て堅固なる築城を施されたる敵壘を奪取せり(倫敦電報)

獨逸汽船攻擊開始

倫敦來電に據れば波羅的海に於て獨逸汽船に對する聯合軍の潛航艇攻擊を開始せる結果十八日獨逸汽船の擊沈せらるゝもの四隻に及べり(紐育電報)

樞密院委員會

樞密院特別委員會は二十日も引續き工場法施行令に關し審議する處ありたるが工場法施行令中特に主務大臣に對する委任範圍に關して意見あり就中勞働時間の除外を强要する件に對しては最も鞏固なる態度を取らんとするもの〻如く主務大臣が一個の所見を以て勝手に勞働時間の延長を許可し得る事とならんには折角工場法の精神を無視する虞れあるより此の點に修正を加へんとするものゝ由なり

以下文武官百九十六名に對し位階陞叙の御沙汰ありたり(東京特電)

海軍大臣從三位勳一等功二級 加藤友三郎
叙正三位
第七師團長陸軍中將從四位勳五等功三級 宇都宮太郎
第八師團長陸軍中將從三位勳二等功三級 大井成元
叙正四位(各通)
退職判事正四位勳三等 田丸稅稔
叙從三位(特旨ヲ以テ位級ヲ進ラル)

位階陞叙の御沙汰

二十日午前十時宮中に於て加藤海相

中村都督の哈爾賓訪問

中村關東都督は來月上旬哈爾賓往訪に決したり此行は時局柄大に意味ありと

佛船擊沈

[illegible]

大阪財界近信

(大阪商業) 狀あるものを除く)の品名、數量、價額注文書及び日附等を調査しつゝありと

郵船の浦鹽行大使即ち立神丸の代船阪田丸(目下神戸碇泊中)に二百噸を[illegible]

△露國爲替制限 露國政府に[illegible]なる條件あり[illegible]似の輸入品に對しては成る可く爲替を取扱はざる旨債權局より各銀行宛[illegible]

糖六月渡二十三圓七十五錢の手合あ[illegible]り分蜜糖は一昨年八月二十日の先物[illegible]せしが其中二萬株は同社の重役が最低プレミヤム六十三圓にて買取豫約[illegible]け之を他に賣却して其差額を利得するの惡慣例あり斯の如きは財界の一[illegible]

殖民地貯金高

あるものと一般に徵課せられつゝあり(東京電報)

遞信省最近の調査に依れば我國殖民地の貯金高は二千四百九萬圓餘にして內北海道一千三十八萬三千圓樺太三十三萬二千圓臺灣二百八十六萬圓朝鮮八百十九萬五千圓滿洲二百三十二萬圓なりと(東京特電)

經理學校行幸

陸軍經理學校にては廿日卒業證書授與式を擧行せるが當日 天皇陛下には午前九時三十分宮城御出門侍從長波多野宮相以下供奉員を隨へさせられ同校に行幸久邇宮殿下大島陸相其他の奉迎を受けさせられ便殿に入御御少憩後講堂に成らせられ優等生藤原二等主計の「歐洲戰役に於る獨逸給與に就て」滿川主計候補生の「被服材料檢査に就て」の講演を聞し召され次で式場に臨御木村校長より將校學生九名候補生四十八名に卒業證書を授與したる後 陛下には田中侍從武官をして優等生に恩賜賞品銀時計一個宛を傳達せしめられ終つて便殿に入御御少憩後還幸相成りたり(東京特電)

立花中將

立花第十九師團長一行は二十日朝京義丸にて淸津著官民の盛大なる出迎を受けて上陸午後羅南に向ひ三時同地著司令部にて將校伺候式あり二十一日部隊檢閲を爲し二十二日軍旗授與式を行ふべし(淸津特電)

歸還兵淸津出發

歸還歩兵第六旅團司令部歩兵第七聯隊本部歩兵及び騎兵の一部は二十日正午羅南より淸津著一泊の上二十一日松山丸北丸に分乘內地に向ふ(淸津特電)

京城府の獻木者

明治神宮の御造營に就き曩に京城府より神宮造營局に對し獻木の件出願中の所今回其の許可の指令に接したり獻木者は貴族を代表したる朴泳孝、副島安一、酒見安の三氏及び在鄉軍人會京城分會等にして本數總計三十二本なり、各獻木者は大正七年四月檢造の豫定にて爾今夫々獻木樹の保護手入等を行ふ可しと

山東に米需要

十九日仁川出帆芝罘青島に航行する朝鮮郵船會社の江原丸には白米三斗俵六千五百個の大積荷あり右は前記兩地仕向けのものなるが同方面は革命亂の勃發以來白米の需要激增し來る傾向ありとて當業者間には其の理由に付諸種の觀測行はれ居れり

京城人口の減因

京城に於ける人口は昨年十二月末日の統計に於て內地人が千二百二十戸一萬一千百五十人を增加せるに反し朝鮮人は千八戸一萬一千百五十人を減少し結局京城の戸口總數に於ては三百二戸八千三百六十二人の減少を來し居れる割合なり日進月歩の勢にありと云ふ京城に於て斯くの如く朝鮮人人口の減少を來し居れるは多少奇異の感なき能はざれども右は內地人の居住者增加して生活問題に困難を感ずるに至りたると都市の發達に連れ生存競爭激烈となり來りたる等の結果にして近來警察制度の進歩と共に戸口調査の正確を來したるため比較的確なる數字を表するに至れるためなるべしと云ふ試みに最近京城府に於て調査したる既往四箇年間の人口統計を見るに左の如し

年度	內地人	朝鮮人	外國人	合計
大正四年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同三年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同二年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同元年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

山東牛皮輸入

朝鮮皮革會社は露國注文軍需品製造原料として牛皮を山東省より盛んに輸入しつゝあるが十六日青島より入港の朝鄆江原丸は一個二百七八十斤見當のもの三百四十個を積載し來りし由

勝田總裁の經濟演說

支店長會議に於ける訓示

思ふに、當行は開設以來日尚淺く、未だ其域に達せざるものあるは予の諒とする所なるも、將來は諸君と共に益々努力せざるべからずと確信す

三、鮮銀今後の經營方針

以上は達觀上の概念を述べ諸君の參考に供し將來各種業務上推考の根基を示したるに過ぎざるが以下少しく朝鮮銀行今後の方針中重なる二三點につき所信を述べんとす。

▲大銀行たるの實質 第一 朝鮮銀行は今日尚一地方的銀行たることを免れざるも將來は海外銀行又は世界的銀行として其機能を發揮せざるべからず。是れ蓋し銀行設立以來の方針ならんも、更に進んで之を發揮せんことを欲す。予が局外にありて朝鮮銀行を見たりし時に於ては朝鮮銀行なるものが世人に認めらるゝ程には認められ居らざるが如し。當行には外國爲替關係に精通するもの僅かに指を屈するに過ぎず。外國爲替を取扱はざる銀行は現代の意味に於ける大銀行にあらず。苟も大銀行たるものは外國爲替の業務に堪能ならざるべからず。而して予の當所に來りて驚きたるは、當行員にして歐米の地を踏みたるもの極めて少きに在り。斯くては到底海外銀行として發展せんことは困難なり。

▲中央との金融連絡 第二には、朝鮮銀行が右の如き性質の銀行たるには、中央政府並に中央に於ける各種重要金融機關との連絡が更に密接ならざるべからず。從來當行は中央政府と直接關係の少かりしに拘らず、英明なる統監總督ありて、よく之を指導したると、重役行員の奮闘とに因り、其今日あるを見たるも、將來は漸次に中央政府又は中央に於ける諸金融機關と密接なる聯絡を保つにあらざれば、本來の機能を充分に發揮し得ざるべしと信ず。紋上の意味に於て、例へば東京支店の如きは漸次其整備を期するの方針を採らむとす。

▲人材の集中養成 第三に人材の集中養成に重きを置かざるべからず。由來殖民地には內地の人材は多く來らず。幸ひ當行の如きは諸君の如き多士濟々たるありて、予の大に幸とする所なるも、尚ほ大に人材を要すべしと信ず。人材に依らざれば業務の發展期すべからず。又更に人材の養成に極力注意せざるべからず。過日各支店長に對し銀行の改良意見を徵したりしが、其答申中人材の養成人格の修養に關する希望あり。是れ余の會心とする所にして、尚ほ如何にして人格を練磨し、人材を養成するやの具體的方法を諸君と共に講せむと欲す。

▲業務の統一 第四に業務其他に付一層統一的組織的たるを期せむとす。從來業務の執行規則類の制定等、相當に統一的組織的なるは予の滿足する所なるも、更に進んで一層之れを完美するの必要あり。凡そ機關の大なれば大なるに從つて益々其の必要を見るべし。識者は獨逸戰勝の原因を其の組織的統一的なるに歸せるが、蓋し故なきにあらず、朝鮮銀行も資本を增大し、業務を擴張し、之を世界的銀行たらしむるには更に統一的組織的ならんことを要するは多言を要せずと信ず。

浦鹽航路と渡航者

日本郵船會社浦鹽航路船小倉丸は從來神戸、門司、釜山、元山、城津の各地に寄港し大阪浦鹽間を航海しありしが今回元山露國領事館の撤廢され同領事館及び其管轄內たりし城津に於て浦鹽渡航免狀の査證を爲す事能はざるに至りし結果元山城津より直接浦鹽に旅客を搭乘し行く事不可能となり是非共露國領事館の所在地たる淸津に寄港査證を得るの必要より竟に城津寄港を廢し淸津に仕復共寄航する事となり來る廿一日入港を初航として今後引續き寄港すべしと(淸津)

ジュート輸入許可

英國は今回ジュート及同製品(ガンニー袋の如きもの)を輸入せんとする日本商人に對し特許表に記入ある者に限り之を許可する事に決定したるを以て該品輸入希望者は朝鮮にありては英國總領事館迄申込むべしと

京畿道稻作順調

京畿道各郡に於ける當代の仕立は頃日來の天候順良なりしため頗る成績宜しく良好にて此向ならば本月末より遂次播種を了したるが其後苗の成育も亦植付を開始す可く今後激變なき限り京畿道本年の米作は豐作と見て可なるべしと

府勢一斑調査完了

京城府は例年の如く昨年十二月末日現在に於て府勢の一斑を調査し引續き各種統計等の取纏め中なりしが此程漸く完結せしを以て近々發刊公布す可しと

輕鐵開通と郵便物

平安南道新安州价川間輕鐵開通に付遞信局にては來る二十六日より該輕鐵に與地行き郵便物の托送を開始する由なるが其の結果德川方面は二十四時間价川球場寧邊各方面行きは何れも若干時間宛速達することゝなりたり

初鷹丸解傭

大阪山木組を介して借入れゐたる朝鮮郵船會社の初鷹丸(二百噸)は同社航路の關係上此程傭船契約を解き船主に返還せられたり

工務員採用試驗

遞信局にては工務員採用試驗の爲め受驗者募集中なりし處應募者六十一名あり十五日より試驗執行中なるが十九日終了月末頃に成績を發表すべしと

人事消息

▲勅使河原鐘之助氏(平壤地方法院長) 二十日夜入京天眞樓へ
▲伊藤德四郎氏(同檢事) 同上
▲三井十三二氏(平壤覆審法院檢事) 同上
▲赤井定次氏(大邱覆審法院檢事) 同上
▲鵜沢友猪氏(釜山地方法院檢事正) 同上
▲秋場格太郎氏(光州地方法院檢事正) 同上
▲氏野德太郎氏(海州地方法院檢事正) 二十日夜入京山本旅館へ
▲柳澤佐五郎氏(大邱地方法院長) 二十日夜入京不知火旅館へ
▲中山勝之助氏(大邱覆審法院長) 二十日夜入京浦尾旅館へ
▲大村大代氏(大邱地方法院檢事正) 同上
▲島山虎也太氏(平壤覆審法院長) 同上

南言北語

駐米獨大使ベルンストルフ伯はコラ〳〵最うさう亂暴しては不可ない少し待て〳〵と在米獨人に訓示して居る▲昨日迄はヤレ〳〵大にヤレと亂暴の後押しをして居たのに妙に早變りの處は臭いぞ〳〵▲其の臭みが平和風を捲き起しながら相手のない媾和なら屁の樣なものぢや▲英國でも露佛でも絕對勝利を得る迄決して媾和は許ぬとウンと褌を締て居るからヂタバタしたつてやる處迄はやるサ▲今更ら勝手な熱を吹いたつて誰れが聞くか▲此方は其の疲れるのを待つて居たのぢや▲張作霖が盛京時報で發表した辨明書とか云ふものを見ると▲天下の人幸に余を以て無能の惡物となす勿れと大きく來てる▲誰れも賢明だとも何とも云はぬが頑迷に日本人の排斥をやつて居たら幸に自ら禍いするあるを忘る勿れとなるかも知れぬ▲日印協會で大隈伯が平和風を吹かせて日印の聯絡は急務であるンであるとやると▲珍客の第一人前印度巡視員長ブーチャー君は▲世界は平和な時代があり戰爭があるので進步し發達する▲平和が續けば惰氣滿々として弱くなり貧しくなる▲論より證據日本も日淸日露の兩戰役で强い國民、愛國心の旺盛な國民である事を世界に示して居るのではないか▲とグン〳〵突つ込むので流石の隈伯も大分凹たれて恐縮して居る姿は近來の見物であつた相な▲休憩の際新聞記者がブーチャーは面白い事を云いますナと皮肉ると▲伯は厚い唇を堅く噤んで「ウー」は如何にも苦しさうだつたと云ふ

陳其美暗殺後報

陳其美の暗殺に關する調査に依れば同兇行は用意周到なる謀殺なり或日支人某陳其美の住宅に赴き鑛山を擔保として陳其美の爲め借款を起さん事を提議したり其の後右の支那人は外十五名の支那人及び一名の日本人を伴ひて陳其美の來り居る南滿鐵道ホテルに赴きたるがホテルの番人は日本人の同伴し居るを見て油斷し居りしが其の間一行中の或る者は陳其美と會見したり氏は借款に關し何等知る處なしと云ひ右の支那人は鑛山の圖面を持ち來る爲め自動車にて取り來るべしと出で行きたり軈て支那人は間も無くホテルに歸り他日再び來るべきを約し何れも挨拶を爲して出で行かんとせし際初めて射擊したり陳其美は頭部に二箇腿部に一箇の彈丸を受けたるが其の際ホテル內に宿泊せる一日本人は拳銃を奪ひ一名の兇行者を射擊せり(上海特電)

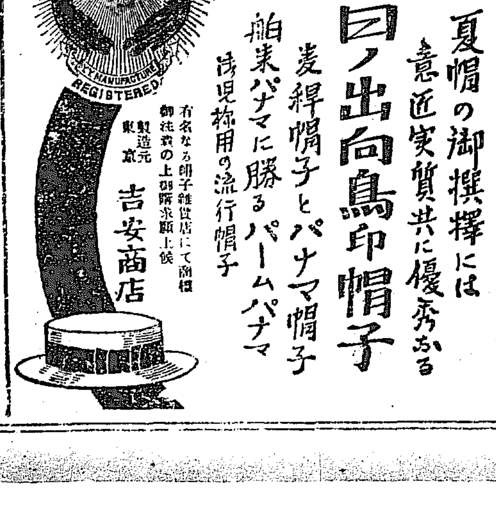
小澤磐太郎著 實務家の福音 此本が一冊あらば遊んで居ても事務が捗る 算手必携 此は調法
三六版紙質製本最上 正價六十五錢 稅四錢 東京西大久保一三三 振二九六三九
內容 (基礎算諸表)逆數表。平方表。立方表。步合表。重要なる係數表(應用算諸表)日數早見表。單利諸表。複利表。複利現價表。年金總和表。年金現價表。年賦金表。丸太尺〆表。立木尺〆表。棒桶類容積算出用表。所得稅額一覽表。度量衡換算表。慣用單位比較表。其他。

池坊 生花講義錄 短期速成最も容易に習得せしむ師に就きて口授を受ると異ならず 會則附
愛知縣立農林學校長 農學士 山崎延吉君著
見本進呈 送料二錢郵券を送れ 東京四谷區須賀町 日本華道會

農民之訓練 最忽高再評版
四六版美本全一冊 正價金六拾錢 郵稅六錢
本邦農村問題の權威たる著者茲に積年の經驗を以て本書を著し、農村問題解決の根本策として農民の資性に參して訓練を主張し、之を東西の學說に稽へ、議論明切、行文平易なれば、地方自治農村經營を論ずるの士、一讀以て根本思想を培養せよ
▼特約販賣所 京城本町 振替京城一五七三 大阪屋號
發兌 東京日本橋十軒店 振替東京一〇七七番 裳華房

各國時計 自轉車 蓄音器 直輸入卸商 喜多金光堂 京城黃金町二丁目(電話一〇一五番) 振替口座七八二番

大正五年 受驗界 五月十日發行 本號金卅錢 郵稅二錢 東京本町 博文館
中學世界增刊 ■本年競爭受驗界 ▲諸校入學志願者と合格者數 入學試驗成績講評 ▲數學の受驗準備 ■本年度諸學校入學者氏名一覽
附 大正五年官公私立學校入學試驗問題集
▲一高入學受驗實記 ▲二高實記 ▲三高初陣の記 ▲四高籠城錄 ▲五高受驗實記 ▲六高入學の嬉しさ ▲七高をパスした ▲八高へ八高へ ▲商船校の入學試驗 ▲神戸高商受驗計劃 ▲慶應と明治大學 ▲早稻田の理工科へ



夏帽の御撰擇には意匠実質共に優秀ある 日ノ出向鳥印帽子 麥稈帽子とパナマ帽子 舶来パナマに勝るパームパナマ 時見称用の流行帽子
有名なる帽子雜貨店にて御求め願上候 製造元 東京 吉安商店

特許 新案 意匠 商標 東京法律事務所 特許課
東京 京橋 新肴町一 電話 京橋一五四番 三〇四八番
特許辨理士辯護士 吉田三市郎 特許辨理士辯護士 田坂貞雄 特許辨理士工學士 中川五郎吉 特許辨理士辯護士 山崎今朝彌 特許辨理士辯護士 阿保淺次郎 特許辨理士辯護士 佐々木藤市郎

…射を受け…沈せられしが顧客船員共一人の救助せられたる者なかりし(紐育電報)

…輸入禁止品にして輸入禁止以前に…注文を受け契約成立せるもの(代金…の支拂を受けたるもの及び銀行信用…

…斯科里商店より…肥料…輸商談成立したる過燐酸肥料四百噸は浦鹽…替なるが積出は…

…方需要多かるべき見込なり而して價格は內地に比し比較的高値にて…

…其都度證據書類を提出せしめ又其商品中花類、香水、レース其他之に類…

…り前日より又復二十錢方引締りて…分蜜糖七八九月渡十八圓九十五錢…

△攝紡重役狼狽

攝津紡の社債七萬株は大阪現物團に依りて公募…撤回する模樣なり從來會社の重役が…株式五部を最低プレミヤムにて引受…議を釀すに至れるが此の機に於て斯の如き惡慣例を矯正せざるべからず(十七日大阪支局記者)

物集博士講演 (上)壇上の物集博士 (下)聽衆

●露都土産

露國の事情に通じて貰ひたい

軍需品購買委員會 軍靴註文三百萬足 佐渡朝鮮皮革常務談

露國には軍需品購買委員會と云ふものが設立されて購買に就ては必ず此委員會を通過しなければならない事になつてる其委員會には英國政府からの派遣員が加はり甚大の勢力を振つてる無論財政上の關係からであるが何か外國にでも注文すると云ふ事になるには先經理本部で立案され其が

審査局に行つて

審査の上通過すれば再び經理本部に返つて來て更に陸軍省に廻り參謀本部を經て今の軍需品購買委員會に提出される英國には成る可く軍需品を英國自身から供給しようと云ふ腹がある若し英國から供給する事が不可能ならば米國からやらせても日本には注文させ度がらぬ是れ思ふに日本に餘り注文さして戰後に至つても日本の工業が盛大となつて英國の東洋政策に惡影響を及ぼして來る危憂があるからであらう其で大抵の事は

此購買委員會迄

行つて熟考される事になる日本に注文品の來るのはよく〳〵窮した時なのである愈々此委員會で決定されたと云ふ時には更に又經理本部に返つて來て契約部の手に據つて契約されると云ふ運びになる此樣な煩瑣な順序があるから一の注文がある迄には月はかゝる遲くなれば半年も一年もかゝる現に昨年八月に日本の陸軍省に賴まうと云ふ話が出來かけてから今日迄遲延してる未契約の儘の軍器があると云ふ有樣である

陸軍大臣が呟と

云つても經理本部長(陸軍中將)が承知しても露國の事許りは契約書類を握る迄は決して安心が出來ない何時前言取消と云ふ事になるか知れたものでない而も右語る如く戰爭の狀況が今後餘り長引く模樣もなく然もアルカンゲル經由の大輸入が近々實現しようとし更に加ふるに購買委員會の意嚮右の如しとすれば今後日本に對する注文は大したものは來ないと云ふ事になつて來る是はどうもさう見たが正當だらうと思はれる處が予は歸京して驚いた事だが最近露國から

軍靴三百萬足の

大口註文があり其代金三千萬圓は露國募集の大藏省劵で三箇年延拂ひと云ふ契約が出來たとの噂で各地の新聞が書立て或る地方では其註文引受の爲め工場増設迄してると云ふ事だが是れなど露都に於て其間の事情を知悉してゐる予にとつては寧ろ事情に疎いのを笑ふ事も出來ない程の誤報である前にも言つた樣に露國には最近に米國あたりから盛んに皮革の荷が到着したので今迄材料不足の爲め休んでゐた工場が一齊に仕事を始める事になつた予は

露都で代表的の

工場二箇所を見物したが一箇所の方は一日九千足の軍靴と市場供給の靴二千足を製出し他の一箇所は五千足の製造力を有してゐた此樣な工場が露都許りでも幾箇所となくあり莫斯科にもありリガにもあると云ふ有樣で其等が最近に材料を得て一齊に活動したのだから仲々驚く許りの勢ひである然るに是等の工場から陸軍當局に納める軍靴の値段が從來一足十二留五十哥即ち一留を六十錢見當にして七圓五十錢と云ふ安價なものであつたので最近に商人が三留五十哥の値上即ち十六留にしろと云ふ

値上運動を行り

出した日本の金で九圓六十錢許りに當るのである處が當局は莫迦な事を言へそんなに高くする樣なら日本からとる其方がどれ丈け安上りだか知れないと一寸嚇しをやつて直に一方では在露都日本大使館附武官に其意を致し見積書を取寄せる事になつた其見積書も予の在露中到着したが何でも九圓七十錢かで露國商人の請求値段より多少高値であつた其れが孰れに註文せらるゝ樣になつたか予は知らずに

露都を出發して

來たのだが何しろ今お話しする通りの煩瑣な手續があるのだから愈々日本に註文すると云ふ事になつたとした處で一寸やそつとには決定する樣な事はない其れを日本では政府から商人連に相談して見積書をとらせたことが成立でもしたかの樣な騷ぎをすると云ふのは誠に莫迦げきつた話で日本の一般商人に對して尚少し露國の情にも通じて貰ひ度いと云ひ度くなる次第である(つゞく)

●本社主催 物集博士講演會

講演二時間半—聽衆約六百名

本社主催物集博士講演會は二十日午後四時三十分より南山町高等女學校講堂に於て開催されたり晩てより博士の高風と博學多識なる博士の説を聽かんと開會前既に參集したる聽衆約六百名に及びたり定刻に至るや阿部本社社長は開會の辭を述べ併せて博士を聽衆に紹介す物集博士は盲雷の如き拍手に迎へられ其の質素なる風姿を壇上に運び悠揚迫らず急がず二時間半に亘り我日本文化が其の淵源を印度に發し支那を經て朝鮮の媒介を以て日本帝國に渡り進化し淨化せられて今日の文明を作るに至りたる道程を述べ其文化には僧侶の力與つて大なりし事蹟を博士が其の該博なる智識の一端を開いて説き來り説き去り講演せられ趣味津々として盡きず午後六時三十分にして講演は終りを告げたり

東京大相撲

二十日午後東京支局特電

△三日目の勝負

勝		負
玉柳	おしきり	黑縅
琴ケ浦	よりたふし	駒泉
稻の穗	ひねり	一港
敷島	つきだし	大の川
八甲山	したてなげ	江富士
岩木山	預	浦の濱
栃木山	ひきおとし	大蛇潟
對馬洋	つりだし	鶴渡
西の海	つきだし	石山
四海波	分	柏戸
龍ケ崎	ひきおとし	土州山
逆鉾	つきだし	寒玉子
九州山	はつきなし	黑瀨川
伊勢の濱	うつちやり	兩國
大錦	もちだし	玉手山
國見崎	つりだし	櫻川
國ケ岩	おしきり	緋縅
千年川	かわびせ	稻葉嶽
小常陸	おしきり	鳴門洋
大鳴門	つきおとし	梅川
朝潮	うわてなげ	釋迦嶽
玉の川	ひきおとし	紅葉川
眞砂石	よりきり	朝綠
金の花	ひねり	宮城山
太刀山	おしきり	宇都宮

右の內▼一港に稻の穗は港右筈にて押すを稻殘して右四つとなりヂリ〳〵と押合ふ內稻上手を捻り綺麗に極まる▼稻葉嶽に千年川は左四ツ千年右上手を引いて吊身に寄り進み稻の打遣らんとするを體を預けて浴せ倒し千年の勝▼大の川に敷島は突合ひ大の例の通り左手に敷の腮を攻めて押進み敷の堪ふるところを引き落さんとしたるが敷殘すと共に附け入つて押切る▼小常陸の勝▼近江富士に八甲山は右四つ八寄進み下手投を打ちて勝▼梅川に大鳴門は梅機先を制して烈しく突張れば鳴門受け流し右を差せば梅嫌つて突き拔き左矢筈に押進むを鳴門の勝

▼岩木山に浦の濱

は岩突掛けて二本となれば浦右上手を引き寄進んで上手投を打つを岩體を突きつけて同體に流れ軍配は岩に上がりしも物言ひ附いて預かり

▼栃木山に大蛇潟

は當日の好取組なし互ひによきところを立たんとして仕切直す幾回の後ち栃木の聲に立ち上がるや大蛇敵の出ハナを蹴返しに行きしが栃木殘して右を當てゝ押進むを大蛇突きの廻り込むを栃木透さず双筈に構へてドコまでも押すと見せて大蛇の殘すを引き落して栃木の勝は大喝采▼對馬洋に鶴渡は右四ツ吊出して對馬の勝▼釋迦ケ嶽に朝潮は左四ツ釋迦が右四ツに捲きかへさんとするところを大きく打つたる上手投げ釋迦一支へもなく土俵を割る▼西の海に石山は石の飛び込んで廻るを西ハタキ石の殘すを透かさず突き出す

△中入後

▼四海波に柏戸は柏の突張るを四海殘して左を押せば柏右上手を引いて押合ひ水入後一寸動いて引分▼玉の川に紅葉川は紅葉鋭どく突き進むを玉土俵際に危く殘して廻り込み紅葉の左手を取つて引落す▼龍ケ崎に土州山は土州の突き出す右手を取つて引き落し龍の勝▼朝綠に眞砂石は眞砂例の通りに突掛け右を差して寄切る▼逆鉾に寒玉子は一寸突き合ひ突き出して逆の勝▲宮城山に金の花は宮城變つて立ち方をして押して出るを捻つて金の勝▼九州山に黑瀨川は九が立上りざま左を當てゝ黑瀨の左手を抑へ押進み土俵際にドンと突き放しての勝は大きし

▼兩國に伊勢の濱

は兩立ち上がりざま伊勢の右手を左手に捲いて掛け投げを打たんとする所を伊勢差手を深く預けてそのまゝ强引に拔き上げんとすれば兩防ぎつゝ體を預けて土俵際に打つちやり軍配は伊勢に揚りしも物言ひ附いて土俵丈預かりとし伊勢の勝▼大錦に玉手は錦の出ハナを玉手イナシて左を差し內掛に行くを錦堪へて拔き上げその儘持ち出して錦の勝▼宇都宮に太刀山は宇都が遮二無二突張るを太刀受けて立ちつゝ反對に攻勢を執つて突き立て〳〵突き進み右を筈に當てゝ押切り太刀の勝にて打出したり

△四日目の取組

敷島 琴ケ浦 千年川 岩木山 伊勢潮 小常陸 △中入後 紅葉川 四海波 鳴門洋 宮城山 朝潮 宇都宮

柏戸 朝綠 金の花 九州山 浦の濱 大錦 眞砂石 梅川 大鳴門 大の川 玉手山 西の海

稻の穗 玉の川 寒玉子 兩國 太刀山 釋迦嶽 黑瀨川 龍ケ崎 八甲山 栃木山

學界偉人の大講演

三十餘年間苦心の結果廣文庫の著作をなし我學界の大恩人たる文學博士物集高見氏は今回の來鮮を幸ひ本社支局の乞に應じ左記の順序を以て各地にて大講演あるべし來聽隨意

□仁川(廿二日)□鎭南浦(廿四日)□平壤(廿五日)
□大邱(廿八日)□釜山(廿九日)

主催 京城日報社各支局

劍と筆と

白水參謀長の記者團招待宴

南山の緑濃かな眺め窓に入る花月で十九日夜白水軍參謀長は在京城新聞通信記者を招待した定刻の午後七時になると主人參謀長は竹內高級副官を初め千輪副官、松浦參謀等と共に

▽ボツ〳〵集

る賓客を迎へ開宴と同時に主人の挨拶、阿部社長の答辭型の如く濟み酒三行絃歌頻りに湧けば主人參謀長は取寄せた畫帖に墨痕淋漓と

酒間即興
雨後南山翠欲流。花拋筆劍試淸遊。晩來買醉何邊好。春色猶留花月樓。 白狐峰

と書く誰かある此挑戰に應ずる者は と見てあれば

▽日頃は鐵筆

に親しみ英文にこそ名のあつたソウルプレスの山縣社長が德利と盃とを描いた傍に

いざのまん筆も劍も打ち捨てゝ
心ゆくまでのめやもろびと いそを

と應じ是れは參謀長の詩の飜譯だと云ふ竹內高級副官が「筆劍縱橫」と筵を揮つて「禁營」と署名し畫帖を書くと大垣京通社長が

世態變遷誰見機。人情趣利事多非。可知道義無今古。日月千秋光不違。 金陵

とやる何れは一騎當千の强者許り二冊の

▽畫帖は忽ち

にして墨黑々と塗りつぶされてしまつた

風雲一別十三年。再會漢陽花月天。痛飲何歎春已盡。牡丹香裏酒如泉。 皐天

議論風發主客醉ひけり明易き 此經 文峰

由南の花下に謀士の人數かな 目池

おのこやは劍と筆をとりもちて
羨の名に行かん敵群るゝとも 鐵楚柱

其他(○の傍に「一他消萬劫飢」と中村槐翁がやり「如意を描いたに「世路傍如意」と主人孤峰參謀長がやる釋尾旭邦がやる牧山玄濤がやる夜十時半迄歡語が絶えなかつた

●物集博士の 苦心談

‖羽織の肱が擦れる‖ ‖視神經を使ひ切る‖

群書索引を著作刊行するに就ての苦心談を聞くに左の如し

▽私は二書の

著作に志を立てゝから早や三十一年となるが其間此事業を完成する外は何の希望も樂もない、花見もせねば月も見ぬ芝居や寄席や其他の物は言ふ迄もない只書物と顆引であつた

▽御覽の通り

此羽織と外に二三著あるが皆此の腕の邊が擦れを生じ破れる爲め膝を當てゝある、之は段々近眼と言ふよりは視力が減ずるので手に持つて讀書する爲め書物の表紙が此處に觸れて擦れるのである

▽眼も十萬卷

の書物に触す間に視神經を使ひ切て仕舞たと見ゆ今は全く黑白及び物の輪廓を辨ずるに過ぎぬ筆を執るのも單に見當を附けて書くのみで全く一身を事業の犧牲にした譯である

▽私は維新後

に少しの土地を買置きしもの十幾倍の地價に昇騰せし爲め自然に十二三萬圓の財産を作つたが是れ亦廿年間三十餘人の助手を雇入れ大學や師範學校の教授の如きも夙に辭退し專心此業に從つた爲め消費し盡くした元來無一物で國を出た者であるから元の默阿彌になつた譯である

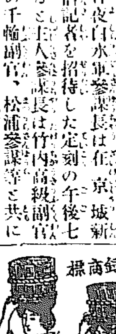
▽書畫古器物

も少からず藏して居るが之は單に愛玩する爲めではなく著作の參考々證上必要な爲め漸次蒐集した者である先年之を競賣するが如く新聞に傳へられたは二三骨董家の奸計であつて全く自分の本心に出でた事ではなかつた

▽今回鎭南浦

の中村氏が厚意を以て負債を償却して呉れ又出版の費用も貸與して呉れたので初めて刊行する事と爲つた、自分の健康も今日迄其業に耐へ三十年の苦心空からず初志を貫徹するを得るのは自ら何によりの幸福として衷心の欣快を禁じ得ぬ處である

登録商標



本舖大阪三宅

賓業博覽會に於て數多き髮油の內獨り我本椿香油のみ金牌の榮譽を荷へり

如何に本椿香油は他の髮油より勝れるかを知られよ

故に襃きに 宮妃殿下及宮內省御內儀御用の光榮を拜し華族貴顯方は勿論上流社會に於て盛に愛用せられつゝあり

●注意 頭上桶なきは僞物なり

定價 廿錢、卅錢、六十錢、一圓

本椿香油の大名譽

●聚古堂定期入札 二十一日午後より定期入札により賣買する佐々木聚古堂の陳列品は今回は全部日本物を以て充され書畫其の九部を占め刀劍骨董類も逸品少なからずと

朝鮮總督府
一石炭 八十萬斤 右購買ス詳細ハ五月二十日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

京日案內
普通(一回四十字詰金三十錢無割引) 番外(匿名一回毎に金五錢增)

普通

●家屋賣却 土地高燥眺望佳絶二階建間數五箇水道附 姓名在社 476

社員朴元植五月二十日解職す 京城長谷川町九十一番地 帝國公債信託株式支部 475

●貸家 黃金町三ノ三〇二番 黃金湯筋 南日本建閣前にて官吏に適す瓦斯水道付家賃十六圓 電九八九番 大島 471

●但馬特産柳行李一手販賣 並古本寶買取次 電話二一〇番 本町三丁目 但馬屋號 北村商店 470

外務員採用 月給式拾圓外に步合を給す希望者は履歷書携帶本人來談 京城花園町一二二 帝國圖書普及會支部 457

○店員入用 年十六七市內に確實なる身元引受人あるもの 明治町一丁目 高尾商店 467

竹木陶器大理石銅鐵鍮化學應用 無刀彫刻法傳授 書留送れ直に郵送す 大田(大田驛前) 石原米藏 455

古本無比高價買入 懸賞の勉强是非御試寶を乞ふ御報即刻參上 京城本町四 電話二七八一番 書肆 群書堂 199

旅館讓受たし 京城旭町三丁目山崎 電話一七九七番 176

番外

美顔術衣裳着髮結 御婚禮等の御衣裳着御招きに應ず ○今般開業披露の爲當分の內半額 南山町三ノ一三 菅美容館 474

家傳 りん病三日藥 輕症三日全治 服んで即日効験ある不思議の妙藥 京城明治町二丁目四二 明治旅館事務所 朝鮮發賣元(電二〇三五) 木嶌ケイ 473

恩給年金退隱料扶助料 法定利子以內 何分でも特別御便利に御相談仕候 京城若草町百六番地 西村商會 140

▼讓店 但將來無二の商店 新龍山現在建物確實なる場所に在り現在にて間取豐富何れの營業にも適す右讓る望の方は相當御面談 姓名在社 ▲一軒 472

礦物定量分析 京城太平通二ノ一二五 坂元分析所 電話一三四四番 416

貸自働車 乘合 京城春川間 片道四圓 京城發午前八時 春川發午前九時 ◉京城水標橋通り 電話弐壹參八番 支配人 ◉春川自働車商會 松田壽男 50

◉高給社員招聘 業務擴張に付誠實なる人格高き紳士三名高給にて招聘す自筆履歷書携帶本人來談 黃金町二ノ一八一 横濱生命保險會社 朝鮮出張所 465

旅館至急讓る 年營業多大の信用並に純益あり主人歸國に付至急格安にて讓る 所在南鮮道廳 (姓名在社) 466

日鮮滿巡遊切符讓渡し度し 右當地より安東奉天大連を經て郵船にて門司著終點博多迄期間五十日間 右御希望の方は本町日本蓄音器商會まで御問合せを乞ふ 電壹貳八參番

●材木店開業 專賣鴨綠江紅松、杉、松原木各種雜木製材販賣 京城黃金町帝國生命會社前 電話二八五一番 兆昌木材店

▲萬衣裳貸物所 本町五丁目電車終點 電話二千八百六番 べにや 120

●重石水鉛買入 京城瑞麟洞 光化門郵便局(横川端) 電話四八六番 大菱商行 108

恩給年金で金融希望の方へ抵利立替 ▲當分五年迄即時立替 京城永樂町一丁目 商品陳列館裏門前 江州屋本店

▲花盛 鉢新荷著仕候 京城南大門通五 陶製 樋口陶所支店 電話三三四六 444

恩給年金類立替 京城本町二(京城銀行横小路) 吉田屋 437

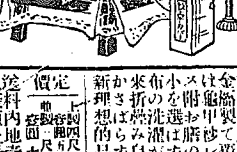
皮膚病 花柳病 專門 須古醫院 京城永樂町一 商品陳列館坂の上 電話三二〇番 196

恩給年金類 長期低利立換 短期保險不要 市內土地擔保低利金融す 京城南大門外(舊御成町) 山口屋 190

賣地及貸地 南大門通漢湖農工銀行隣三十坪餘 一時 京城黃金町二丁目 電話一〇一五番 喜多金光堂 433

ルーデサック A十個四十錢 B十八個六十錢 一形一個廿五錢女用一個 以上一割引外に要送料郵券代用 京城黃金町三 山田文殊堂藥房 425

特許 衛生食卓カバー



此のお膳掛は金網製で[illegible]新理想的品也

定價 上製四尺二寸 中製四尺 …

送料內地壹個八錢 …家具店雜貨

○有名なる食器食料品店吳服店等にあり 發賣元 東京銀座尾張町 玉屋洋品店 電話新橋三三〇三番

○特約販賣希望の方は御相談に應ず

M EP 名泉大賞牌受領 コマツ 大阪唐物町四…田商店

自動車運轉手 は今や內外の需要益々急激に各所に就職口多大也 此際斯業に從事せんとする士は速に申込むべし 東京市京橋區南紺屋町 發動機協會

贊化病院 京城本町二丁目 電話二四二番
內科 小兒科 入院隨意 毎日五名を限り無料施療す
醫學博士 古城憲治
醫學士 上野亮藏

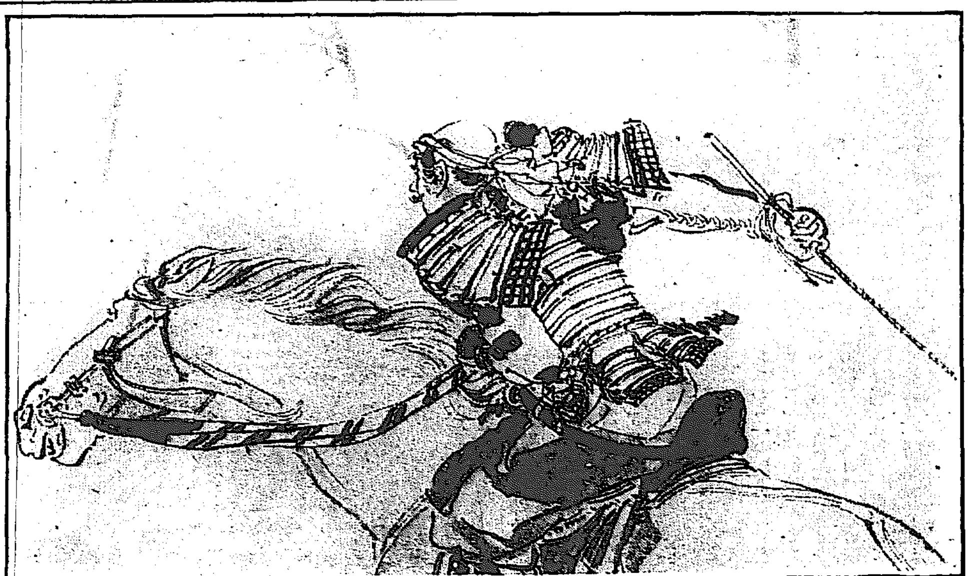
レンガーミシン會社 大邱支部
分店所在(大邱、慶州、安東 金泉、大田、公州)

千生瓢 (218)

須藤南翠作 筒井年峰畫

長湫（十九）

是れを第一の注進として、第二第三と追々に到着し、水野藤十郎勝成目覺しき働きして、一番首に白井備後守を討ち取った事、久世三四郎廣宣、秀次を追ひ驅けて、宗徒の郎等に支へられ、夫等を悉く討ち取った事、後陣に控へた長谷川秀一も、中軍の崩れがかつた爲、遂に散々にな



つて、先手の方に逃げ散つた事まで次第々々に明らかに聞ゑた。家康は直ちに全軍に休息を命じ此處にて朝の兵粮を行はせた。勞れを休め、腹を調へ、十分精氣を恢復させた上、備を固うしてまた進んだが、朝辰下刻頃（午前九時）に至つて先手の諸將堀秀政に驅け破られて、散々に討ち立てられた處へ、池田、森の大軍、蓼々地に返し合せたので案の外なる大敗となり、本田康重ばかり踏み止つて戰つたが、是れとても生死不定であるらしの注進に接した。家康はこの敗報を得ても、一向に驚く色もなく、騒ぐ氣ぶりも見ゑなかつた。徐かに内藤四郎左衛門正成、高木藤次郎清秀の兩人を呼出して「先陣、散々に敗戰に及んだと申す其方兩人急ぎ馳せ向つて、篤と物見致して參れ」と申し付けた。兩人は命を領して、直に馬を進めようとした時「味方の敗報は調べるに及ばぬぞ、敵が勝に乗った勢ひを、備さに見究めて參れよ」と申し加へた。

内藤、高木が鞭を擧げて馳せ向つたまゝ、まだ歸り報せざるうちに、榊原康政、大須賀康高の手に附け置かれた軍目付渡邊半藏守綱唯一騎、大童になつて馳せて來た。家康はそれと見るより、目通りに呼び寄せて「追ひ來る敵の勢ひは何うぢや、味方の先手は八方へ逃げ散つたであらうな」と尋ねた。半藏守綱大息吐いて「御諚の通り、既に堀に破られたる處に、またも池田、森に追ひ薄られ、敗戰の上に敗戰を重ねて、榊原、大須賀、水野父子、孰れも思ひ思ひに血路を開き、猪子越原、熱田、石佛等に引揚げられておざりまする」「敵は何うぢや、よも備を固めては追ひ驅けまいな」「御意、敵は勝に乗つて亂足になつて追ひ參つておざりまする。早く御旗本を以てかゝらせらるゝに於ては、御勝利疑ひおざりませぬ」と陳述した。家康が左右の返答にも及ばぬ程に内藤正成、馬に白泡吹かせて馳せ歸つた。「御物見仕つておざりまする。敵は二萬ばかりの大軍にて、勝誇つて追ひ撃つ勢ひ、其鋒先當り難う見受けまする。早々岡崎へ御馬を入れられ、御落城然るべう存じまする」

斯う言つて太息を吐いた。此處へまた高木清秀が立ち歸つて「殿、御勝軍おざりまする」と英氣凜々として申し立てた。家康は莞爾として「此の敗軍が、何で勝軍なや」「敵の兵氣は十分に驕つておざりまする。早速御旗本を以て御懸りあらば、必定御勝利おざりまする」と、清秀は勇み立つた。此時一向亂の時、宗徒に與して懸の主に叛き、加賀の國に牢居して居たのを、大久保七郎右衛門忠隣の御詫に依り、遂に召し還され、光秀が謀叛に依つて、家康堺の浦よりの歸路を塞がれ、進退に窮したる時、其の行動を以て宇治の上林又市政重と謀らひ、一子峰順郷兵一百人ばかりを率ゐて、家康を木津川に迎へ、近江の國信樂の郷、多羅尾四郎兵衛光俊の館に入れ參らせた功に依つて家康の信任を恢復した本多彌八郎正信、末席より進み出て、「箇樣に勝ち誇つた大軍に驅け向ふ時は、十に一つも勝算はないものおざりまする。一時も早く岡崎へ御馬を入れらるゝが、萬全の策かと存じまする」と進つた。

京城本町三丁目（壽座南隣） 伊藤耳鼻咽喉科醫院 電話三三七七番 醫學士 伊藤應隆

清酢 マルカン印 日本一 創業三百有餘年 各地到る所の酒醤油店に販賣せり 特約店 日本醤油株式會社出張所 京城太平通二丁目 電話二四五番

○京釜線より 卓天

大邱郵吟

若葉越しに針合す驛の大時計

アカシヤの花の香長官退廳す

幌臭ふ梅雨に訪ふ友病みてあり

發車すれど葉櫻に人妻尚去らず

黄潤にて

ポプラ花散り舞ふ臺車黒光る

新刊紹介

▲新人斬馬 野依秀一氏が昨年五月以來舊臘迄に斬り捲りたる人馬約五十は四六版七百六十頁の裡に死屍累々たり唯氏が直言譏打時に或は側杖を喰ひたるやの感ある者なきにあらずと雖も村正の名刀は一度鞘を離るれば終に血を見ざればやまざるを如何せん、内實現の世界に損殺せしもの少なからず（一圓二十錢東京市麹町區有樂町一實業之世界社）

▲住宅運命大觀 著者田中茂公氏曩に住宅運命鑑修轉運命樹の著あり、共に住宅と運命との交渉を說明せるが今回更に又此著あり、精緻なる研究の結果ならずんば非ざる也、本書は相即諸評、因果關環及陰陽の法則を主眼として從來の九星五行相學の迷信を排し自家獨創の見を樹立したるものにして住宅と家志、運命、陰陽の法則より、地相因果の關係に論及し其の證例として乃木大將、大隈伯、岩倉公、早大、女子大其他を列擧せり又當代一種の興味ある研究と謂ふべし（三圓大阪市東區今橋二の四二不老硏究）

▲全國高等女學校才媛文叢（第一集） 全國高等女學校及び同程度の學校に於ける生徒自作の詩歌俳句作文を蒐收して調せるもの妙齡女子の高情流露してけうときのみならず評論相似年學相近きものゝ作品は照映さし刺戟さの點に就て時に古今大家の名文傑作を師とするに勝る事なしとせず近來好帖の者と謂ふべし（特價四十錢東京市神田區今川小路二の一雄文館）

▲少年（六月） 實益あつて興味を失はず時令の空中戰、辛男と甘子、雷の發見高塔の雲郭公の生立ち等（十六錢東京市京橋區時事新報社）

▲講談倶樂部（六月號） 戰亭、西男、有波、桃水、邦幹、一山、針打其他の小說講談落語、脚本等ゴチ〳〵大安賣也（二十八錢東京市本郷區駒込坂下町四八講談社）

▲朝鮮總督府巡査受驗提要 總督府警務總監部警視法學士水野弘氏の著にして第一章には朝鮮總督府巡査志願者心得と參考法規を載せ第二章刑法第三章刑事訴訟法第四章警察法第五章朝鮮地理の各章を設け要を摘み警察行政に關する絕大の事項に就き法律の趣念を得る事に努めたり殊に明治四十五年より大正四年七月に至る採用試驗問題を附錄せるは受驗希望者の好參考たるべし（五十錢京城本町大阪屋）

▲奈良と京都 趣味叢書第五編古契獨行脚の內關西地方の分に增補を加へ頗る本とて携帶に便にせり（六十錢東京市神田區錦町一の一九誠文堂）

讀者の領分

登山會、山岳會、探勝會何でも宜敷、速に設立を希望す。京城四圍の山野は同士の大歡迎を待ちつゝあり（贊成者總代）▲幾何公園でも餘り夜半迄高歌放吟では附近の人が困る斯う云ふ手合が得手して樹木などを折るものだ（公德生）▲冠岳附近には重石盜掘者が多いドシ〳〵公然やつて居る（旅行家）▲吾輩の近所にも横着な奴が居て夜半迄騒いで困る世界の相撲生等が本欄で議論するのは大に贊成だが實例として片つ端から騒ぐ奴を指摘してやれば好い（横町の住人）▲此頃水原で一大問題となつて居るものがあるそれは水原の或人の飼犬を獸醫が狂犬病と報告したので撲殺すると云ふ事になつたので飼主は驚いて京城から獸醫を招いて診察してもらつたら狂犬病の症狀は無いと云ふ診斷であるにも拘らず遂に殺されてしまつた狂犬病でないものを狂犬病として無理に殺すとは無茶なやり方で飼主の權利を蹂躙すると甚だけしからん此飼主は損害賠償の正式裁判を仰ぐかも知れん吾人も愛犬家の一人として大に研究すべき問題と思ふ（鐵拳生）

時間正確 實用新案 三七三九〇 此品無代進呈

●大阪西區堀江御池通六丁目長尾商店 ●呉服部では顧客に誠實安價なるを擴めん爲め利害を顧ずセル地新柄流行品質優美高尚一見高價なる舶來品と見分難き別製品一反只の二圓二十錢同甲二圓六十錢甲上三圓二十錢尚本年新流行洛衣セル一反僅か一圓五十錢其上各一品毎に前記の如き十六形時間正確實用新案日光懷中時計及鎖メタル三景品を無代添附すると云ふ方法と品質の善良安價にて商評質あり因に本紙愛讀者で望の方は「ハガキ」にて男女年齢を記し同店へ申込ば柄合見計ひ親切に荷造の上代金引換送料實費にて送附し商品現品本文に相違する時は無割引他品交換又は返金すると云ふなれば安心して注文するを得らるべし

花柳病外科專門 ◎梅毒◎淋病◎泌尿生殖器病 ◎睾丸病◎肛門病◎皮膚病 ◎婦人病◎神經衰弱 ◎六〇六注射包皮其他手術 ◎診察無料◎入院隨時 京城南大門通農工銀行裏 司生堂醫院

タングステン 用手廻鍋鑛機及大マグネツト中根式鑛山機械は始政五週年記念物産共進會に於て賞牌一等を授與され朝鮮唯一の鐵工界に於ける最初の受賞者たるの光榮を得 京城南大門通五 電話一〇四番 中根商會

質 京城黄金町二丁目（永樂町停留所北入） 堀佐營業所（電話六三九番）

宮内省御買上品 原料香水 オリヂナル 香水中で一番よい 未だ御存じない方はすぐお試して御覽なさい 三越呉服店を始め有名呉服雜貨小間物化粧品店に販賣す 小三十錢中六十錢大一圓廿錢 特大二圓四十錢懷中用大一圓廿錢同七十錢 ◎贈物あり 發賣元に御注意 發賣元東京 安藤井筒堂 代理店大阪 藤森源之助

內科 胃腸病 夜診九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話專用二七二九番 三三三

日韓書房 新版報告 部會農村編輯部譯 英國の田園生活 定價八十錢 送料八錢 塚本弘譯 トルストイ民話集 定價一圓 送料十錢 陸軍中將田中義一著 壯丁讀本 定價三十五錢 送料六錢 矢野征雄著 ショウペンハウエルの研究 特價一圓八十錢 送料十八錢 三省堂發行 新々英和辭典 定價一圓 送料八錢 京城本町二丁目 南朝鮮 電話一四五二・二二一 振替口座二七五

營業所開設 ▲一般鑛物之鑑定並分析 ▲左記鑛物之買入「タングステン」鑛、銅、金、銀、鉛鑛等 營業所 朝鮮京釜線芙江驛 古川鑛業所

確實有利地方限定 支部募集 引受人 無經驗可也交際廣く少資熱心家は應募送れ◎見本規則無代進呈 東京淀橋町 東光園

攝津灘 大塚釀造所吟製 金露 發賣元 京城本町二丁目 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五

京城龍山漢江通八番地（佐久良座横） 金物電氣商 巴商行 樋口米太郎 電話四二四番 京城電氣株式會社製品 コールター一手販賣（石材販賣） 巴商行 鑄物工場 京城黄金町三丁目（永樂町東入） 大阪久保田鐵工所代理 東京神奈川電氣株式會社代理 電氣部 電話京城一四二五番

京城櫻井町一丁目（大正館南半丁） 內科小兒科 婦人科花柳病（入院隨時） 筑紫醫院

銚子港 田中玄蕃釀造 ヒゲタ醤油 代理店 櫻正宗發賣元 京城明治町一丁目 山邑京城支店 電話八四九番 振替貯金京城七五番

新荷著アンクル式片側懷中時計 ●價格は實用的にして正確體裁優美 天下無比 イングレツシー商會 京城本町二丁目電話九七二番

京城春川間自働車運轉 京城發午前八時 春川發午前九時 京城南大門通一丁目二十二番地 廣橋京春自働車組 電話二一九番 主務 金正淵

大邱浦項間自動車發著時間 大邱出張所 電話一一七番 大塚農場自動車部

金泉醴泉間自動車發著時間 金泉織居自動車支部 金泉電話四八番

大阪商船仁川出帆

群山、木浦、釜山、關門、神戸大阪行 天草丸 五月三十日 午後五時出帆

油頭丸 六月二日

須磨丸 五月廿六日

木浦、釜山、巌原、郷の浦、長崎行 信濃川丸 五月廿九日 後二時出

信濃川丸 六月十六日

鎮南浦、大連行 信濃川丸 五月廿四日 後二時出

福州丸 六月十一日

大連直行 潮州丸 五月廿四日 正午出帆

木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 安東丸 五月廿四日 後五時出

群山、釜山、横濱行 潮州丸 六月九日 後二時出

福州丸 五月廿九日

濟津、浦潮行（元山出帆） 須磨丸 六月八日 後二時出

安平丸 五月廿五日

上海、基隆、打狗行（大連出帆） 城津丸 五月廿六日 後四時出

基隆丸 六月六日

御注意 ○外航所開航路（濟津航路を除く）船の時は五分前に以て絡切符發賣仕候 ○×印は寄港御斷り ○御乘船客は本船の出帆約一時間前迄に乘船御注意 京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店

日本郵船仁川出帆

大連、太沽、牛荘行 相模丸 六月四日 正午出帆

高砂丸 五月十二日 正午出帆

三河丸 五月廿三日 正午出帆

仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

朝鮮郵船出帆

全羅丸 六月廿一日 京畿丸 六月四日 黄海丸 五月 成鏡丸 五月 釜山發

穩城丸 五月廿三日 昌平丸 五月 鏡城丸 五月 元山發

慶興丸 五月 日 木浦發 公州丸 五月 日 木浦發 慶興丸 五月廿二日 木浦發 宗信丸 五月 日 仁川發 江原丸 五月 日 仁川發 麗水丸 五月廿二日 仁川發 濟州丸 五月廿六日 仁川發 錦江丸 毎日午前 仁川發 南陽丸 平安丸 五月廿七日 五月廿一日 群山發 若松發

鐵道會社及東京郵船と旅客連絡運輸取扱 京城南大門驛前 松原運送店

共同汽船仁川出帆

阿波國共同汽船株式會社

○芝罘、大連行 第一共同丸 五月 日 入港 五月 日 前九時出

○城津、清津、浦潮行（元山出帆） 第一阪鶴丸 五月 日 後九時出

○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三共同丸 五月 日 前八時出

仁川代理店 山下回漕部 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 河村運送店

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行 立神丸 五月廿三日 後五時出帆

○元山、清津、浦潮行 立神丸 五月 日 後十時出帆

○門司、神戸、大阪行 小倉丸 五月 日 後五時出帆

○元山、城津、浦潮行 小倉丸 五月 日 後十時出帆

○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 五月 日 後六時出帆

○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 五月 日 後六時出帆

作須奈、巌原、壱岐、博多行 ○天草丸 毎月二、二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆

釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行

○大正丸 五月 日後四時出帆

○大有丸 五月廿七日後四時出帆

○神代丸 五月廿一日後四時出帆

○秀吉丸 五月廿五日後四時出帆

○若が代丸 五月 日後五時出帆

仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

商況 大阪株式特電 下關期米市電 仁川米豆取引所 ▲現物界